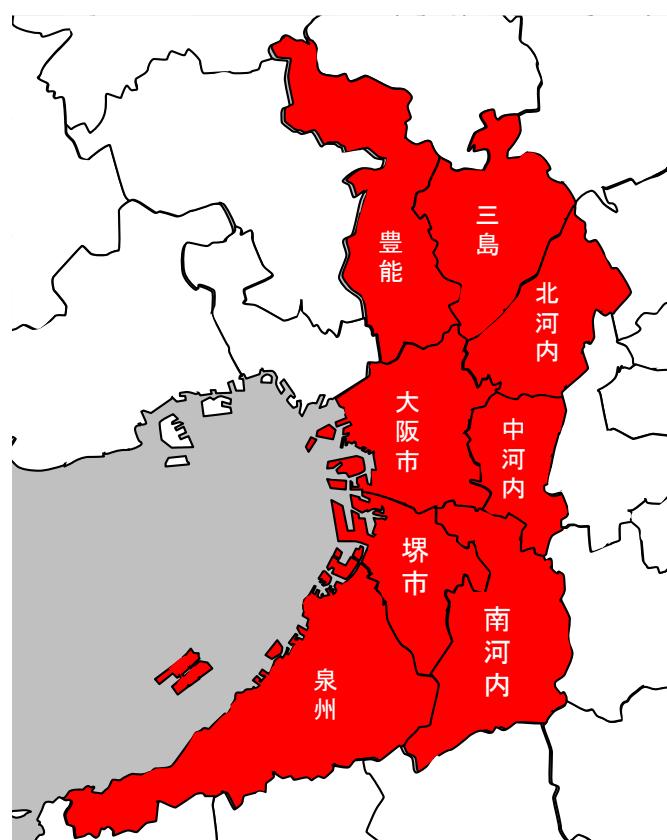


27. 大阪府



- 年間「0-2999件」の全身麻酔が
圏内で行われている二次医療圏
- 年間「3000-9999件」の全身麻酔が
圏内で行われている二次医療圏
- 年間「10000件以上」の全身麻酔が
圏内で行われている二次医療圏

目次

大阪府	27 -	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	27 -	7
1. 豊能医療圏	27 -	24
2. 三島医療圏	27 -	28
3. 北河内医療圏	27 -	32
4. 中河内医療圏	27 -	36
5. 南河内医療圏	27 -	40
6. 堺市医療圏	27 -	44
7. 泉州医療圏	27 -	48
8. 大阪市医療圏	27 -	52

27. 大阪府

(大阪府) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 大阪府は、総人口約8,838千人(2020年)、面積1,905km²、人口密度は4,638人/km²である。

***人口の将来予測：** 大阪府の総人口は2030年に8,262千人へと減少し(2020年比-7%)、2045年に7,335千人へと減少する(2030年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の1,288千人が、2030年にかけて1,523千人へと増加し(2020年比+18%)、2045年には1,512千人へと減少する(2030年比-11%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 大阪府の一人当たり医療費(国保)は379千円(偏差値52)、介護給付費は288千円(偏差値58)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が55(病院医師数54、診療所医師数56)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数が多い。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は54とやや多い。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 療法士総数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は48で精神病床数は全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は58で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 大阪府の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、119,224人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が56,642床(偏差値42)、高齢者住宅等が62,582床(偏差値55)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、78,736人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設44、特別養護老人ホーム44、介護療養型医療施設47、介護医療院46、有料老人ホーム51、軽費ホーム49、グループホーム45、サ高住63である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値65と多く、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値64と多い。介護職員(在宅)の合計は、34,515人(75歳以上1,000人当たりの偏差値78)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

2. 推移

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

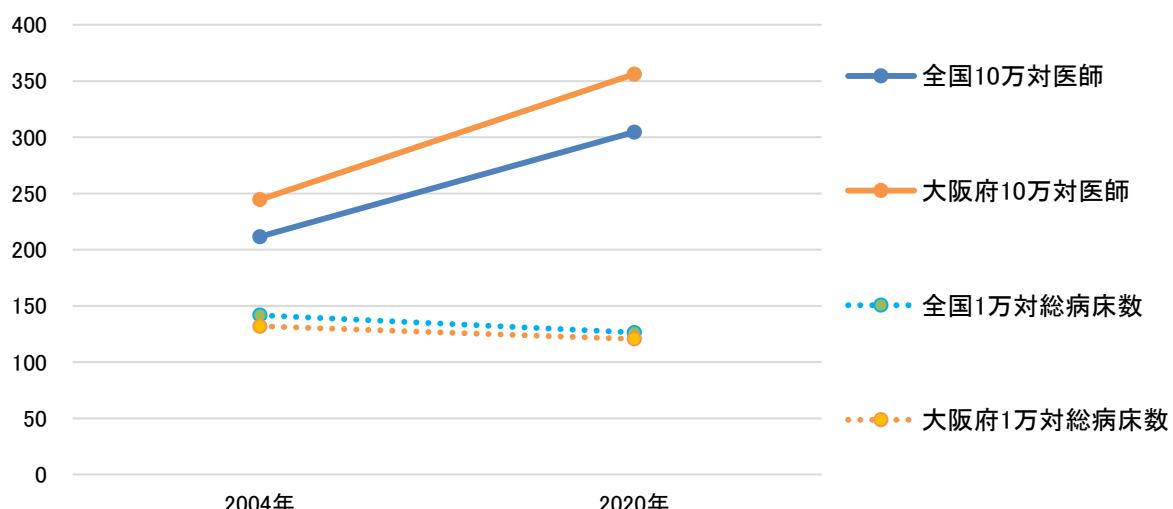
2004年の病院数は555(人口10万人当たり6.3病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2020年に512(人口10万人当たり5.8病院(全国平均6.5)偏差値48)となり、16年間で43病院が減少した。

2004年の診療所数は8,118(人口10万人当たり92診療所(全国平均76)偏差値58)であったが、2020年に8,534(人口10万人当たり97診療所(全国平均81)偏差値58)と、416診療所が増加した。

2004年の総病床数は116,330床(人口1万人当たり132(全国平均142)偏差値48)であったが、2020年に106,665床(人口1万人当たり121(全国平均126)偏差値49)と、9,665床の減少、率にして8%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

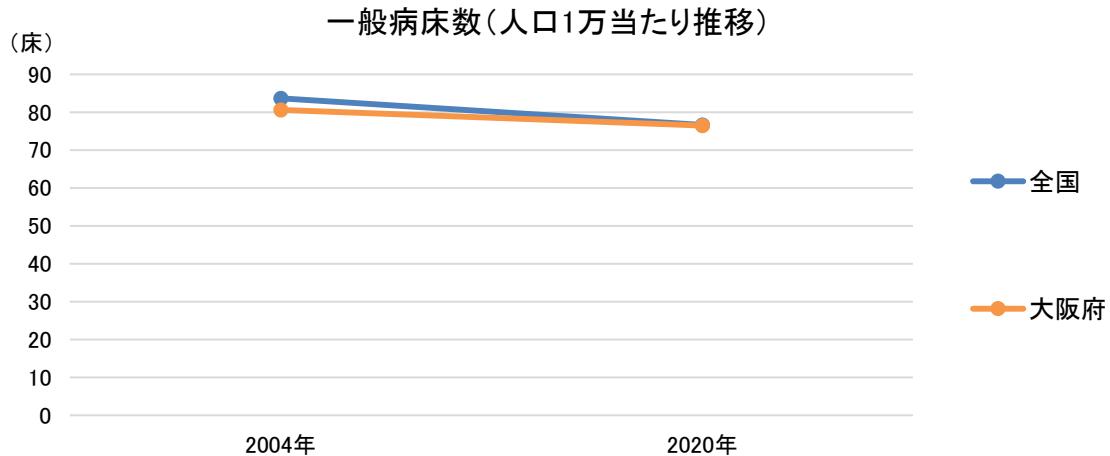
2004年には病院と診療所合わせての総医師数は21,563人(人口10万人当たり245人(全国平均212人)偏差値54)であったが、2020年に31,484人(人口10万人当たり356人(全国平均305人)偏差値55)と、9,921人の増加、率にして46%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



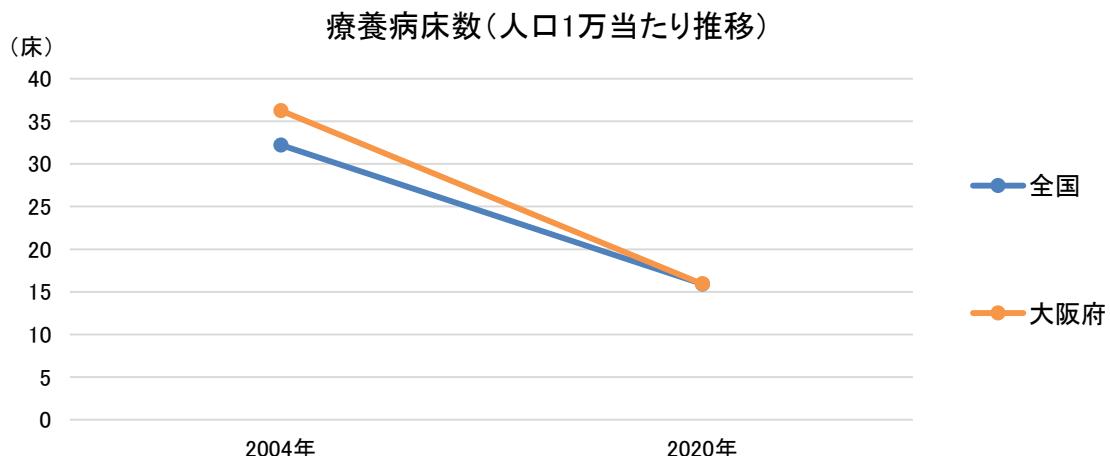
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は71,070床(人口1万人当たり81(全国平均84)偏差値49)であったが、2020年に67,602床(人口1万人当たり76(全国平均77)偏差値50)と、3,468床の減少、率にして5%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は23,571床(75歳以上1,000人当たり36(全国平均32)偏差値52)であったが、2020年に20,533床(75歳以上1,000人当たり16(全国平均16)偏差値50)と、3038床の減少、率にして13%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料

資_図表 27-1 地理情報・人口情報

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢化率
全国	126,146		372,959		338.2		29%
大阪府	8,838	3位	1,905	46位	4,638.4		28%
豊能	1,056	12%	276	14%	3,832.7	大都市型	26%
三島	759	9%	213	11%	3,554.8	大都市型	27%
北河内	1,139	13%	177	9%	6,425.3	大都市型	30%
中河内	827	9%	129	7%	6,422.1	大都市型	29%
南河内	593	7%	290	15%	2,043.1	大都市型	31%
堺市	826	9%	150	8%	5,513.6	大都市型	29%
泉州	885	10%	445	23%	1,988.3	地方都市型	28%
大阪市	2,752	31%	225	12%	12,215.0	大都市型	26%
出 典	<人口>令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年10月 <面積>令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年10月						

資_図表 27-2 人口動態

二次医療圏	2020年 総人口 (単位: 千人)	2030年 総人口 (単位: 千人)	2045年 総人口 (単位: 千人)	2020年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2030年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2045年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2020→ 30年 総人口 増減率	2030→ 45年 総人口 増減率	2020→ 30年 75歳以上 人口 増減率	2030→ 45年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,146	119,125	106,421	18,602	22,884	22,767	-6%	-11%	23%	-1%
大阪府	8,838	8,262	7,335	1,288	1,523	1,512	-7%	-11%	18%	-1%
豊能	1,056	1,035	973	145	187	198	-2%	-6%	29%	6%
三島	759	710	642	109	134	131	-6%	-10%	23%	-2%
北河内	1,139	1,019	835	177	215	204	-11%	-18%	21%	-5%
中河内	827	758	657	128	139	131	-8%	-13%	9%	-6%
南河内	593	519	411	98	117	110	-12%	-21%	19%	-6%
堺市	826	788	707	127	151	143	-5%	-10%	19%	-5%
泉州	885	814	700	128	150	149	-8%	-14%	17%	-1%
大阪市	2,752	2,619	2,411	376	430	445	-5%	-8%	14%	3%
出 典	<人口(2020年)>令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年10月 <人口(2030年、2045年)>市区町村別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月									

27.大阪府(2022年版)

資_図表 27-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指數	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指數	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指數	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	372	(46)	1.000	147	(33)	1.000	199	(18)	1.000	263	(33)
大阪府	379	52	1.069	145	50	1.046	202	52	1.064	288	58
豊能	386	53	1.044	146	50	1.005	207	54	1.043	264	50
三島	409	58	1.076	162	55	1.082	216	59	1.056	226	39
北河内	389	54	1.062	150	51	1.037	210	56	1.064	264	50
中河内	384	53	1.068	145	50	1.026	206	54	1.069	292	59
南河内	388	53	1.038	148	50	1.007	208	55	1.038	269	52
堺市	396	55	1.074	154	52	1.059	210	56	1.059	285	57
泉州	391	54	1.081	159	54	1.116	203	52	1.045	259	49
大阪市	354	46	1.070	133	46	1.022	190	45	1.077	342	74
出 典	<一人あたり医療費>令和元年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>令和元年度介護保険事業状況報告(年報) 令和元年度累計(平成31年3月サービス分から令和元年2月 サービス分まで) ※愛知県、福岡県、沖縄県の一部市町村は二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、介護給付費の二次医療圏の算定には 構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。										

資_図表 27-4 後期高齢者の医療費・地域差指數

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指數	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指數	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指數	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	937	(123)	1.000	475	(103)	1.000	426	(38)	1.000		
大阪府	1,048	59	1.149	525	55	1.153	471	62	1.118		
豊能	1,003	55	1.103	490	51	1.074	458	58	1.100		
三島	1,030	58	1.139	527	55	1.173	455	57	1.084		
北河内	982	54	1.090	480	51	1.082	454	57	1.079		
中河内	989	54	1.099	465	49	1.044	470	62	1.125		
南河内	988	54	1.085	494	52	1.090	443	54	1.054		
堺市	1,073	61	1.170	564	59	1.240	454	57	1.068		
泉州	1,093	63	1.189	591	61	1.293	455	58	1.070		
大阪市	1,117	65	1.204	552	57	1.182	510	72	1.200		
出 典	<一人あたり後期高齢者医療費>令和元年度医療費の地域差分析 厚生労働省										

資料_図表 27-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,238		6.5	(4.2)	102,612		81	(19.4)
大阪府	512	6.2%	5.8	48	8,534	8.3%	97	58
豊能	47	9%	4.4	45	1,007	12%	95	57
三島	38	7%	5.0	46	607	7%	80	49
北河内	61	12%	5.4	47	896	10%	79	49
中河内	35	7%	4.2	44	659	8%	80	49
南河内	39	8%	6.6	50	468	5%	79	49
堺市	43	8%	5.2	47	742	9%	90	54
泉州	73	14%	8.3	54	666	8%	75	47
大阪市	176	34%	6.4	50	3,489	41%	127	73
出 典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資料_図表 27-6 診療所数（全体、無床、有床）

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	102,612		81	(19.4)	96,309		76	(19.2)	6,303		5.0	(5.6)
大阪府	8,534	8.3%	97	58	8,330	8.6%	94	59	204	3.2%	2.3	45
豊能	1,007	12%	95	57	993	12%	94	59	14	7%	1.3	43
三島	607	7%	80	49	591	7%	78	51	16	8%	2.1	45
北河内	896	10%	79	49	864	10%	76	50	32	16%	2.8	46
中河内	659	8%	80	49	641	8%	77	51	18	9%	2.2	45
南河内	468	5%	79	49	459	6%	77	51	9	4%	1.5	44
堺市	742	9%	90	54	718	9%	87	56	24	12%	2.9	46
泉州	666	8%	75	47	644	8%	73	48	22	11%	2.5	46
大阪市	3,489	41%	127	73	3,420	41%	124	75	69	34%	2.5	46
出 典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月								令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

27.大阪府(2022年版)

資_図表 27-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,507,526		1,195	(487)	86,046		68	(87)	1,593,572		1,263	(538)
大阪府	104,561	6.9%	1,183	50	2,104	2.4%	24	45	106,665	6.7%	1,207	49
豊能	10,885	10%	1,030	47	176	8%	17	44	11,061	10%	1,047	46
三島	8,677	8%	1,143	49	180	9%	24	45	8,857	8%	1,167	48
北河内	11,785	11%	1,034	47	403	19%	35	46	12,188	11%	1,070	46
中河内	7,000	7%	846	43	138	7%	17	44	7,138	7%	863	43
南河内	8,031	8%	1,355	53	117	6%	20	44	8,148	8%	1,375	52
堺市	11,920	11%	1,443	55	183	9%	22	45	12,103	11%	1,465	54
泉州	14,570	14%	1,647	59	263	13%	30	46	14,833	14%	1,677	58
大阪市	31,693	30%	1,151	49	644	31%	23	45	32,337	30%	1,175	48
出 典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 27-8 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	887,920		704	(229)	289,114		229	(184)	324,481		257	(223)
大阪府	65,538	7.4%	742	52	20,493	7.1%	232	50	18,160	5.6%	205	48
豊能	7,376	11%	698	50	1,476	7%	140	45	2,019	11%	191	47
三島	5,295	8%	698	50	1,080	5%	142	45	2,302	13%	303	52
北河内	7,991	12%	701	50	1,926	9%	169	47	1,707	9%	150	45
中河内	4,308	7%	521	42	1,210	6%	146	45	1,482	8%	179	47
南河内	4,827	7%	815	55	1,561	8%	263	52	1,577	9%	266	50
堺市	5,650	9%	684	49	3,622	18%	438	61	2,601	14%	315	53
泉州	4,680	7%	529	42	3,643	18%	412	60	6,237	34%	705	70
大阪市	25,411	39%	923	60	5,975	29%	217	49	235	1%	9	39
出 典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資料_図表 27-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	87,589		69	(53)		74,859		59	(78)
大阪府	6,286	7.2%	71	50		5,040	6.7%	57	50
豊能	935	15%	89	54		253	5%	24	45
三島	528	8%	70	50		393	8%	52	49
北河内	904	14%	79	52		506	10%	44	48
中河内	326	5%	39	44		436	9%	53	49
南河内	185	3%	31	43		545	11%	92	54
堺市	759	12%	92	54		625	12%	76	52
泉州	905	14%	102	56		508	10%	57	50
大阪市	1,744	28%	63	49		1,774	35%	64	51
出典	令和4年4月地方厚生局								
	令和4年4月地方厚生局								

資料_図表 27-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	441,504	395,508	14,642	1,056,086	488,026	271,703	44.8%	(26%)	5.1%	(23%)
大阪府	21,571	20,399	173	82,648	45,158	20,022	31.1%	45	0.9%	48
豊能	4,674	4,608	0	6,169	2,758	1,476	62.6%	57	0.0%	48
三島	650	650	0	7,891	4,553	1,036	12.5%	38	0.0%	48
北河内	2,024	1,543	0	9,684	6,472	1,843	19.3%	40	0.0%	48
中河内	1,150	1,150	0	5,857	3,119	1,280	26.9%	43	0.0%	48
南河内	1,214	1,148	0	6,767	3,626	1,564	24.0%	42	0.0%	48
堺市	1,782	1,651	0	10,140	4,060	3,543	28.9%	44	0.0%	48
泉州	1,975	1,965	0	12,727	2,737	3,750	41.8%	49	0.0%	48
大阪市	8,102	7,684	173	23,413	17,833	5,530	30.1%	44	3.0%	49
出典	地方厚生局指定一覧令和4年4月公表データをもとに株式会社「ウェルネス」が集計 公的病院は、「新公立病院改革プラン」「公的医療機関等2025プラン」の策定対象病院とし、開設者が国・都道府県／市区町村／日本赤十字社／済生会／独立行政法人地域医療機能推進機構／地方独立行政法人／独立行政法人国立病院機構／国家公務員共済組合連合会などの病院を含む（ただし地域医療支援病院と特定機能病院については上記に適合しない学校法人の大学病院など全て民間に分類）。これら以外を民間病院としている。指定一覧掲載施設のうち、休止中の病院等は除外している。									

27.大阪府(2022年版)

資_図表 27-11 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,315,172		1,835	(812)	839,196		665	(271)
大阪府	189,284	8.2%	2,142	54	58,752	7.0%	665	50
豊能	19,669	10%	1,862	50	7,884	13%	746	53
三島	14,003	7%	1,845	50	5,172	9%	682	51
北河内	23,328	12%	2,047	53	6,444	11%	566	46
中河内	12,412	7%	1,500	46	5,376	9%	650	49
南河内	15,207	8%	2,567	59	3,192	5%	539	45
堺市	13,683	7%	1,656	48	5,124	9%	620	48
泉州	18,525	10%	2,094	53	6,768	12%	765	54
大阪市	72,457	38%	2,632	60	18,792	32%	683	51
出 典	令和3年度病床機能報告 (令和2年4月～令和3年3月)			令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月 ※令和2年9月の月間件数×12				

資_図表 27-12 医師数（総数、病院医師数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	384,332		305	(99)	243,064		193	(76)	141,268		112	(34)
大阪府	31,484	8.2%	356	55	19,767	8.1%	224	54	11,717	8.3%	133	56
豊能	4,127	13%	391	59	2,822	14%	267	60	1,305	11%	124	53
三島	2,433	8%	321	52	1,634	8%	215	53	799	7%	105	48
北河内	3,304	10%	290	49	2,010	10%	176	48	1,294	11%	114	50
中河内	1,957	6%	237	43	1,084	5%	131	42	874	7%	106	48
南河内	2,099	7%	354	55	1,489	8%	251	58	610	5%	103	47
堺市	2,609	8%	316	51	1,584	8%	192	50	1,026	9%	124	54
泉州	2,575	8%	291	49	1,658	8%	187	49	917	8%	104	48
大阪市	12,381	39%	450	65	7,488	38%	272	60	4,893	42%	178	69
出 典	病院医師数と診療所医師数の合計			令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				

資料_図表 27-13 専門医数（総合内科、小児科、産婦人科）

二次医療圏	総合内科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	小児科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	産婦人科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	33,119		26.3	(12.4)	14,168		11.2	(4.9)	11,602		9.2	(4.3)
大阪府	2,574	7.8%	29.1	52	1,007	7.1%	11.4	50	942	8.1%	10.7	53
豊能	474	18%	44.9	65	154	15%	14.6	57	139	15%	13.2	59
三島	208	8%	27.4	51	89	9%	11.7	51	66	7%	8.7	49
北河内	286	11%	25.1	49	96	10%	8.4	44	86	9%	7.5	46
中河内	115	4%	13.9	40	61	6%	7.4	42	72	8%	8.7	49
南河内	170	7%	28.7	52	70	7%	11.8	51	55	6%	9.3	50
堺市	200	8%	24.2	48	76	8%	9.2	46	75	8%	9.1	50
泉州	169	7%	19.1	44	122	12%	13.8	55	90	10%	10.2	52
大阪市	952	37%	34.6	57	339	34%	12.3	52	359	38%	13.0	59
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資料_図表 27-14 専門医数（皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科）

二次医療圏	皮膚科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	眼科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	耳鼻咽喉 科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	5,948		4.7	(2.3)	9,835		7.8	(3.1)	7,558		6.0	(2.7)
大阪府	408	6.9%	4.6	50	879	8.9%	9.9	57	614	8.1%	6.9	54
豊能	69	17%	6.5	58	126	14%	11.9	63	79	13%	7.5	56
三島	33	8%	4.3	48	73	8%	9.6	56	55	9%	7.2	55
北河内	46	11%	4.0	47	94	11%	8.2	51	84	14%	7.4	55
中河内	29	7%	3.5	45	53	6%	6.4	45	41	7%	5.0	46
南河内	31	8%	5.2	52	61	7%	10.3	58	35	6%	5.9	50
堺市	25	6%	3.0	43	75	9%	9.1	54	42	7%	5.1	47
泉州	25	6%	2.8	42	59	7%	6.7	46	51	8%	5.8	49
大阪市	150	37%	5.4	53	338	38%	12.3	65	227	37%	8.2	58
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

27.大阪府(2022年版)

資_図表 27-15 専門医数（精神科、外科、整形外科）

二次医療圏	精神科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	整形外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	9,934		7.9	(3.6)	22,312		17.7	(7.0)	17,476		13.9	(4.9)
大阪府	680	6.8%	7.7	49	1,747	7.8%	19.8	53	1,375	7.9%	15.6	53
豊能	95	14%	9.0	53	270	15%	25.6	61	176	13%	16.7	56
三島	88	13%	11.6	60	123	7%	16.2	48	115	8%	15.2	53
北河内	86	13%	7.5	49	191	11%	16.8	49	151	11%	13.3	49
中河内	48	7%	5.8	44	129	7%	15.6	47	107	8%	12.9	48
南河内	43	6%	7.3	48	122	7%	20.6	54	103	7%	17.4	57
堺市	81	12%	9.8	55	145	8%	17.6	50	108	8%	13.1	48
泉州	70	10%	7.9	50	142	8%	16.1	48	100	7%	11.3	45
大阪市	169	25%	6.1	45	625	36%	22.7	57	515	37%	18.7	60
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資_図表 27-16 専門医数（泌尿器科、脳神経外科、放射線科）

二次医療圏	泌尿器科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	脳神経外 科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	放射線科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	6,279		5.0	(2.2)	7,149		5.7	(2.5)	6,391		5.1	(3.3)
大阪府	520	8.3%	5.9	54	559	7.8%	6.3	53	544	8.5%	6.2	53
豊能	69	13%	6.5	57	71	13%	6.7	54	88	16%	8.3	60
三島	39	8%	5.1	51	49	9%	6.5	53	40	7%	5.3	51
北河内	61	12%	5.4	52	63	11%	5.5	49	57	10%	5.0	50
中河内	37	7%	4.5	48	38	7%	4.6	46	30	6%	3.6	46
南河内	47	9%	7.9	63	53	9%	8.9	63	36	7%	6.1	53
堺市	32	6%	3.9	45	39	7%	4.7	46	25	5%	3.0	44
泉州	37	7%	4.2	46	41	7%	4.6	46	33	6%	3.7	46
大阪市	198	38%	7.2	60	205	37%	7.4	57	235	43%	8.5	60
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資料_図表 27-17 専門医数（麻酔科、病理、救急科）

二次医療圏	麻酔科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病理 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	救急科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	7,997		6.3	(3.5)	1,820		1.4	(1.0)	4,704		3.7	(2.3)
大阪府	646	8.1%	7.3	53	138	7.6%	1.6	51	382	8.1%	4.3	53
豊能	113	17%	10.7	63	24	17%	2.3	58	57	15%	5.4	57
三島	62	10%	8.2	55	8	6%	1.1	46	25	7%	3.3	48
北河内	77	12%	6.8	51	14	10%	1.2	48	38	10%	3.3	48
中河内	30	5%	3.6	42	7	5%	0.8	44	27	7%	3.3	48
南河内	43	7%	7.3	53	10	7%	1.7	52	21	5%	3.5	49
堺市	39	6%	4.7	45	9	7%	1.1	46	35	9%	4.2	52
泉州	47	7%	5.3	47	10	7%	1.1	47	42	11%	4.7	54
大阪市	235	36%	8.5	56	56	41%	2.0	56	137	36%	5.0	55
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資料_図表 27-18 専門医数（形成外科、リハビリテーション科）

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテー ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,377		1.9	(1.4)	2,868		2.3	(1.6)
大阪府	201	8.5%	2.3	53	204	7.1%	2.3	50
豊能	23	11%	2.2	52	25	12%	2.4	51
三島	18	9%	2.4	53	32	16%	4.2	62
北河内	21	10%	1.8	50	23	11%	2.0	48
中河内	10	5%	1.2	45	15	7%	1.8	47
南河内	16	8%	2.7	56	12	6%	2.0	48
堺市	16	8%	1.9	50	13	6%	1.6	46
泉州	9	4%	1.0	44	11	5%	1.2	44
大阪市	88	44%	3.2	59	73	36%	2.7	52
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月							

27.大阪府(2022年版)

資_図表 27-19 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,164,671		923	(286)	918,226		728	(238)	246,444		195	(75)
大阪府	80,951	7.0%	916	50	65,545	7.1%	742	51	15,405	6.3%	174	47
豊能	8,971	11%	849	47	7,497	11%	710	49	1,475	10%	140	43
三島	6,218	8%	819	46	5,210	8%	687	48	1,008	7%	133	42
北河内	9,205	11%	808	46	7,600	12%	667	47	1,605	10%	141	43
中河内	5,502	7%	665	41	4,250	6%	514	41	1,252	8%	151	44
南河内	5,543	7%	935	50	4,724	7%	797	53	819	5%	138	42
堺市	7,901	10%	956	51	6,601	10%	799	53	1,300	8%	157	45
泉州	8,874	11%	1,003	53	7,501	11%	848	55	1,374	9%	155	45
大阪市	28,737	35%	1,044	54	22,164	34%	805	53	6,573	43%	239	56
出 典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月											

資_図表 27-20 療法士総数と薬剤師数

二次医療圏	療法士総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	149,112		118	(62)	321,982		255	(99)
大阪府	10,312	6.9%	117	50	27,297	8.5%	309	55
豊能	1,221	12%	116	50	3,457	13%	327	57
三島	933	9%	123	51	2,565	9%	338	58
北河内	1,182	11%	104	48	2,660	10%	233	48
中河内	663	6%	80	44	1,628	6%	197	44
南河内	668	6%	113	49	1,496	5%	252	50
堺市	1,062	10%	129	52	1,863	7%	226	47
泉州	1,321	13%	149	55	1,792	7%	203	45
大阪市	3,262	32%	119	50	11,836	43%	430	68
出 典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							
	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月							

資料_図表 27-21 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	15,280		0.8	(0.4)	1,698		0.1	(0.1)	14,163		0.8	(0.3)
大阪府	1,857	12.2%	1.4	65	133	7.8%	0.1	52	1,430	10.1%	1.1	64
豊能	208	11%	1.4	65	11	8%	0.1	48	149	10%	1.0	60
三島	157	8%	1.4	65	5	4%	0.0	44	82	6%	0.8	50
北河内	153	8%	0.9	51	21	16%	0.1	54	158	11%	0.9	55
中河内	155	8%	1.2	60	9	7%	0.1	47	138	10%	1.1	63
南河内	112	6%	1.1	58	14	11%	0.1	57	94	7%	1.0	58
堺市	174	9%	1.4	64	12	9%	0.1	50	175	12%	1.4	74
泉州	134	7%	1.0	56	20	15%	0.2	59	143	10%	1.1	64
大阪市	764	41%	2.0	80	41	31%	0.1	52	491	34%	1.3	71
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和4年4月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和4年4月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 令和4年5月			

資料_図表 27-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,806,963		97	(15)	1,036,035		56	(14)	770,928		41	(14)
大阪府	119,224	6.6%	93	47	56,642	5.5%	44	42	62,582	8.1%	49	55
豊能	13,617	11%	94	48	5,945	10%	41	39	7,672	12%	53	58
三島	8,063	7%	74	35	3,990	7%	37	36	4,073	7%	37	47
北河内	15,184	13%	86	42	6,810	12%	38	38	8,374	13%	47	54
中河内	11,454	10%	90	45	5,347	9%	42	40	6,107	10%	48	55
南河内	7,552	6%	77	37	4,258	8%	44	41	3,294	5%	34	44
堺市	11,219	9%	89	45	4,859	9%	38	38	6,360	10%	50	56
泉州	9,928	8%	78	37	4,697	8%	37	36	5,231	8%	41	50
大阪市	42,207	35%	112	60	20,736	37%	55	50	21,471	34%	57	61
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数、介護医療院定員数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

27.大阪府(2022年版)

資_図表 27-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数、介護医療院定員数

二次医療圏	老人保健 施設 (老健) 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護医療 院 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	365,083		20	(6.3)	605,983		33	(10.0)	25,266		1.4	(2.6)	39,703		2.1	(3.5)
大阪府	20,607	5.6%	16	44	34,614	5.7%	27	44	665	2.6%	0.5	47	756	1.9%	0.6	46
豊能	2,197	11%	15	43	3,748	11%	26	43	0	0%	0	45	0	0%	0	44
三島	1,578	8%	15	42	2,412	7%	22	40	0	0%	0	45	0	0%	0	44
北河内	2,668	13%	15	43	3,975	11%	22	40	28	4%	0.2	45	139	18%	0.8	46
中河内	1,752	9%	14	41	3,272	9%	26	43	205	31%	1.6	51	118	16%	0.9	47
南河内	1,336	6%	14	40	2,502	7%	26	43	240	36%	2.5	54	180	24%	1.8	49
堺市	1,773	9%	14	41	3,038	9%	24	41	0	0%	0	45	48	6%	0.4	45
泉州	1,835	9%	14	42	2,554	7%	20	37	79	12%	0.6	47	229	30%	1.8	49
大阪市	7,468	36%	20	50	13,113	38%	35	52	113	17%	0.3	46	42	6%	0.1	44
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの															

資_図表 27-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	258,955		13.9	(9.4)	24,123		1.3	(2.1)	213,148		11.5	(5.6)
大阪府	19,265	7.4%	15.0	51	1,400	5.8%	1.1	49	11,414	5.4%	8.9	45
豊能	2,498	13%	17.2	53	235	17%	1.6	52	1,084	9%	7.5	43
三島	1,307	7%	12.0	48	213	15%	2.0	53	772	7%	7.1	42
北河内	2,825	15%	15.9	52	274	20%	1.5	51	1,309	11%	7.4	43
中河内	1,166	6%	9.1	45	30	2%	0.2	45	1,062	9%	8.3	44
南河内	877	5%	9.0	45	158	11%	1.6	51	691	6%	7.1	42
堺市	1,601	8%	12.7	49	220	16%	1.7	52	1,292	11%	10.2	48
泉州	571	3%	4.5	40	220	16%	1.7	52	782	7%	6.1	41
大阪市	8,420	44%	22.4	59	50	4%	0.1	45	4,422	39%	11.7	51
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 27-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	274,702		14.8	(7.0)	33,108		1.8	(2.0)	241,594		13.0	(6.6)
大阪府	30,503	11.1%	23.7	63	3,861	11.7%	3.0	56	26,642	11.0%	20.7	62
豊能	3,855	13%	26.5	67	0	0%	0	41	3,855	14%	26.5	71
三島	1,781	6%	16.4	52	143	4%	1.3	48	1,638	6%	15.1	53
北河内	3,966	13%	22.4	61	328	8%	1.8	50	3,638	14%	20.5	61
中河内	3,849	13%	30.2	72	290	8%	2.3	53	3,559	13%	27.9	73
南河内	1,568	5%	16.0	52	0	0%	0	41	1,568	6%	16.0	55
堺市	3,247	11%	25.7	66	91	2%	0.7	45	3,156	12%	24.9	68
泉州	3,658	12%	28.6	70	0	0%	0	41	3,658	14%	28.6	74
大阪市	8,579	28%	22.8	62	3,009	78%	8.0	82	5,570	21%	14.8	53
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計											
	令和4年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											
	令和4年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 27-26 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	188,635		10.1	(2.3)	119,762		6.4	(2.1)	68,873		3.7	(1.3)
大阪府	14,197	7.5%	11.0	54	6,249	5.2%	4.9	42	7,948	11.5%	6.2	69
豊能	1,531	11%	10.5	52	646	10%	4.4	40	885	11%	6.1	68
三島	947	7%	8.7	44	441	7%	4.1	38	506	6%	4.6	57
北河内	1,666	12%	9.4	47	851	14%	4.8	42	815	10%	4.6	57
中河内	1,302	9%	10.2	50	564	9%	4.4	40	738	9%	5.8	66
南河内	982	7%	10.0	50	447	7%	4.6	41	536	7%	5.5	64
堺市	1,509	11%	11.9	58	570	9%	4.5	41	939	12%	7.4	78
泉州	1,335	9%	10.4	51	580	9%	4.5	41	755	9%	5.9	67
大阪市	4,925	35%	13.1	63	2,149	34%	5.7	46	2,776	35%	7.4	78
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

27.大阪府(2022年版)

資_図表 27-27 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員 員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 員数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 員数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
					1,327,531				229,090			
全国	1,556,622		84	(12.7)	78,736	5.9%	61	42	34,515	15.1%	26.8	78
大阪府	113,251	7.3%	88	53								
豊能	11,555	10%	79	47	8,496	11%	58	40	3,058	9%	21.0	67
三島	7,233	6%	66	36	5,611	7%	52	34	1,622	5%	14.9	55
北河内	14,084	12%	79	47	10,323	13%	58	39	3,761	11%	21.2	67
中河内	10,357	9%	81	48	6,967	9%	55	37	3,390	10%	26.6	78
南河内	7,509	7%	77	45	5,706	7%	58	40	1,803	5%	18.4	62
堺市	11,372	10%	90	55	7,754	10%	61	42	3,618	10%	28.6	82
泉州	9,701	9%	76	44	6,501	8%	51	33	3,200	9%	25.0	75
大阪市	41,439	37%	110	71	27,377	35%	73	51	14,062	41%	37.4	99

出典 令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの

資_図表 27-28 在宅医療・介護サービス利用者数（月間）

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
					677,400				1,147,886			
全国	1,477,229		79	(35)	76,401	11.3%	59	66	144,257	12.6%	112	72
大阪府	144,448	9.8%	112	59								
豊能	17,104	12%	118	61	9,836	13%	68	72	15,183	11%	104	69
三島	7,893	5%	73	48	5,161	7%	47	58	6,875	5%	63	51
北河内	15,460	11%	87	52	8,912	12%	50	60	17,438	12%	98	66
中河内	11,481	8%	90	53	5,861	8%	46	57	13,467	9%	106	69
南河内	10,023	7%	102	57	6,124	8%	63	69	8,135	6%	83	59
堺市	17,721	12%	140	67	8,500	11%	67	72	14,404	10%	114	73
泉州	12,592	9%	98	55	5,855	8%	46	57	14,847	10%	116	74
大阪市	52,174	36%	139	67	26,152	34%	69	74	53,908	37%	143	86

出典 令和2年医療施設静態調査
厚生労働省 令和2年10月
令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの

資_図表 27-29 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.8)	8,238	6.5	(4.2)	-839	-9%
大阪府	555	6.3	48	512	5.8	48	-43	-8%
豊能	46	4.6	43	47	4.4	45	1	2%
三島	38	5.2	45	38	5.0	46	0	0%
北河内	61	5.1	45	61	5.4	47	0	0%
中河内	43	5.0	44	35	4.2	44	-8	-19%
南河内	39	6.0	47	39	6.6	50	0	0%
堺市	47	5.7	46	43	5.2	47	-4	-9%
泉州	81	8.8	54	73	8.3	54	-8	-10%
大阪市	200	7.6	51	176	6.4	50	-24	-12%
出 典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資_図表 27-30 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	102,612	81	(19)	5,561	6%
大阪府	8,118	92	58	8,534	97	58	416	5%
豊能	914	91	57	1,007	95	57	93	10%
三島	539	73	49	607	80	49	68	13%
北河内	895	75	50	896	79	49	1	0%
中河内	702	81	53	659	80	49	-43	-6%
南河内	437	67	46	468	79	49	31	7%
堺市	709	85	55	742	90	54	33	5%
泉州	607	66	45	666	75	47	59	10%
大阪市	3,315	126	75	3,489	127	73	174	5%
出 典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

27.大阪府(2022年版)

資_図表 27-31 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	384,332	305	(99)	113,961	42%
大阪府	21,563	245	54	31,484	356	55	9,921	46%
豊能	3,281	326	64	4,127	391	59	846	26%
三島	1,643	224	51	2,433	321	52	790	48%
北河内	2,139	180	46	3,304	290	49	1,165	54%
中河内	1,410	163	44	1,957	237	43	547	39%
南河内	1,513	233	53	2,099	354	55	586	39%
堺市	1,541	185	47	2,609	316	51	1,068	69%
泉州	1,704	186	47	2,575	291	49	871	51%
大阪市	8,332	317	63	12,381	450	65	4,049	49%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資_図表 27-32 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,593,572	126	(54)	-218,982	-12%
大阪府	116,330	132	48	106,665	121	49	-9,665	-8%
豊能	10,446	104	43	11,061	105	46	615	6%
三島	9,283	126	47	8,857	117	48	-426	-5%
北河内	13,300	112	45	12,188	107	46	-1,112	-8%
中河内	8,262	96	42	7,138	86	43	-1,124	-14%
南河内	8,970	138	49	8,148	138	52	-822	-9%
堺市	13,942	168	55	12,103	146	54	-1,839	-13%
泉州	15,563	170	55	14,833	168	58	-730	-5%
大阪市	36,564	139	50	32,337	117	48	-4,227	-12%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資_図表 27-33 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	967,030	77	(27)	-101,791	-10%
大阪府	71,070	81	49	67,602	76	50	-3,468	-5%
豊能	7,064	70	45	7,552	71	48	488	7%
三島	5,444	74	47	5,475	72	48	31	1%
北河内	8,106	68	45	8,382	74	49	276	3%
中河内	5,219	60	42	4,446	54	41	-773	-15%
南河内	5,568	86	51	4,944	83	53	-624	-11%
堺市	6,298	76	47	5,825	71	48	-473	-8%
泉州	5,221	57	40	4,943	56	42	-278	-5%
大阪市	28,150	107	58	26,035	95	57	-2,115	-8%
出 典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資_図表 27-34 療養病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	296,050	16	(9)	-77,773	-21%
大阪府	23,571	36	52	20,533	16	50	-3,038	-13%
豊能	1,022	15	40	1,476	10	44	454	44%
三島	1,213	25	46	1,080	10	44	-133	-11%
北河内	2,161	29	48	1,938	11	45	-223	-10%
中河内	1,180	19	43	1,210	9	43	30	3%
南河内	1,837	37	53	1,561	16	50	-276	-15%
堺市	4,023	66	69	3,630	29	64	-393	-10%
泉州	4,102	61	66	3,643	28	64	-459	-11%
大阪市	8,033	37	53	5,995	16	50	-2,038	-25%
出 典	<療養病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <療養病床数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

とよの
27-1. 豊能医療圏

構成市区町村

[豊中市](#)

[豊能町](#)

[池田市](#)

[能勢町](#)

[吹田市](#)

[箕面市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人団動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(豊能医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 豊能(豊中市)は、総人口約1,056千人(2020年)、面積276km²、人口密度は3,833人/km²の大都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 豊能の総人口は2030年に1,035千人へと減少し(2020年比-2%)、2045年に973千人へと減少する(2030年比-6%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の145千人が、2030年にかけて187千人へと増加し(2020年比+29%)、2045年には198千人へと減少する(2030年比-6%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 豊能の一人当たり医療費(国保)は386千円(偏差値53)、介護給付費は264千円(偏差値50)であり、医療費はやや高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が59(病院医師数60、診療所医師数53)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は50と全国平均レベルである。豊能には、年間全身麻酔件数が2000例以上の市立豊中病院(標準群)、大阪大学医学部附属病院(大学本院群・救命)、1000例以上の市立池田病院(標準群)、箕面市立病院(標準群)、大阪府済生会吹田病院(標準群)、市立吹田市民病院(標準群)、大阪府済生会千里病院(標準群・救命)、国立循環器病研究センター(特定群)、500例以上の関西メディカル病院(標準群)、吹田徳洲会病院(標準群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

***リハビリの現状：** 療法士総数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値54とやや多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は57で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 豊能の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、13,617人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が5,945床(偏差値39)、高齢者住宅等が7,672床(偏差値58)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、8,496人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設43、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設なし(偏差値45)、介護医療院なし(偏差値44)、有料老人ホーム53、軽費ホーム52、グループホーム43、サ高住67である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値65と多く、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値60と多い。介護職員(在宅)の合計は、3,058人(75歳以上1,000人当たりの偏差値67)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

(豊能医療圏) 2. 推移

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

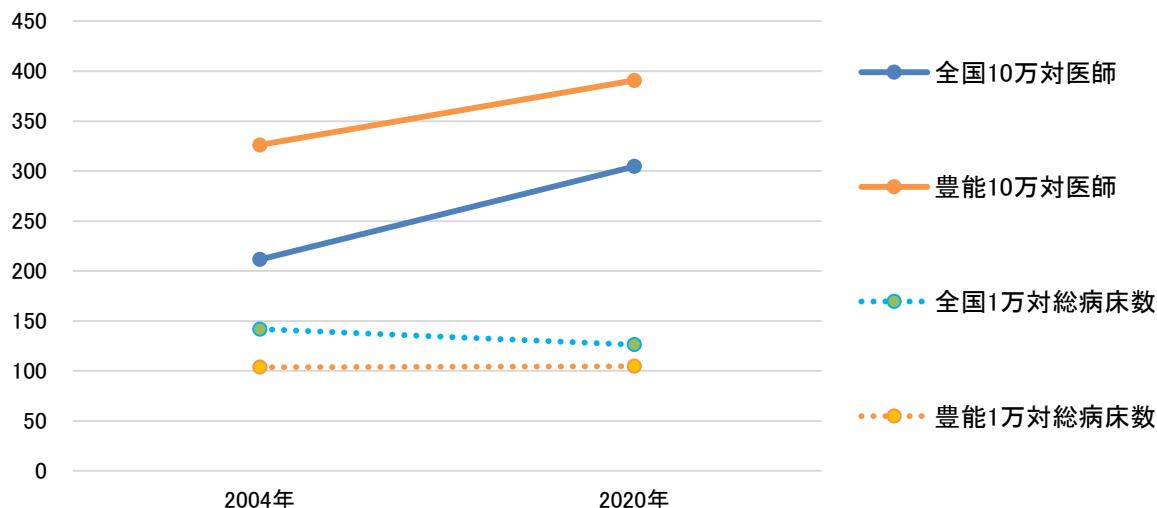
2004年の病院数は46(人口10万人当たり4.6病院(全国平均7.1)偏差値43)であったが、2020年に47(人口10万人当たり4.4病院(全国平均6.5)偏差値45)となり、16年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数は914(人口10万人当たり91診療所(全国平均76)偏差値57)であったが、2020年に1,007(人口10万人当たり95診療所(全国平均81)偏差値57)と、93診療所が増加した。

2004年の総病床数は10,446床(人口1万人当たり104(全国平均142)偏差値43)であったが、2020年に11,061床(人口1万人当たり105(全国平均126)偏差値46)と、615床の増加、率にして6%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。

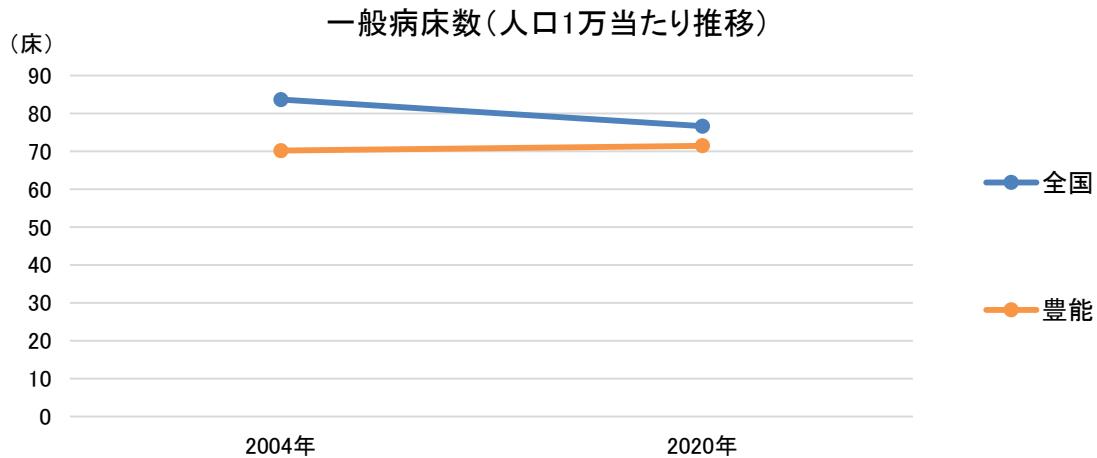
2004年には病院と診療所合わせての総医師数は3,281人(人口10万人当たり326人(全国平均212人)偏差値64)であったが、2020年に4,127人(人口10万人当たり391人(全国平均305人)偏差値59)と、846人の増加、率にして26%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



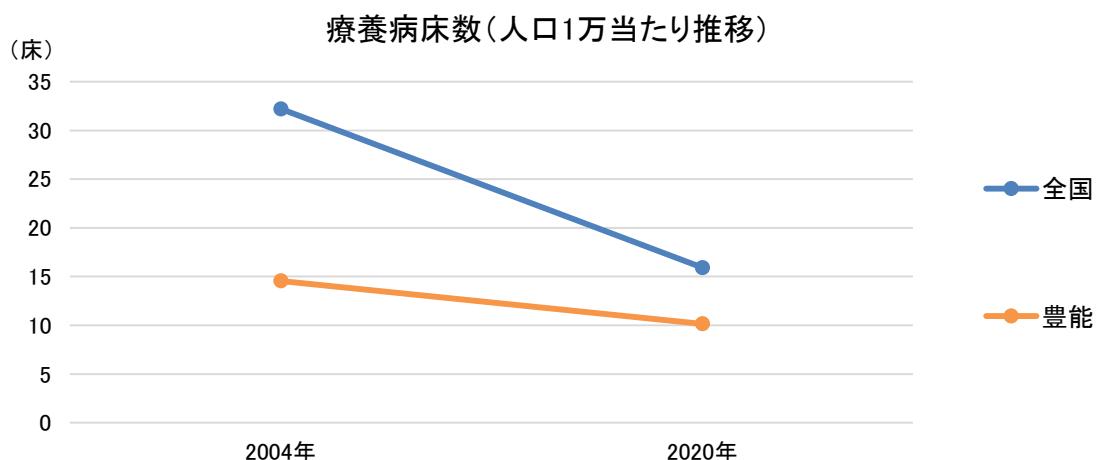
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は7,064床(人口1万人当たり70(全国平均84)偏差値45)であったが、2020年に7,552床(人口1万人当たり71(全国平均77)偏差値48)と、488床の増加、率にして7%の増加(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は1,022床(75歳以上1,000人当たり15(全国平均32)偏差値40)であったが、2020年に1,476床(75歳以上1,000人当たり10(全国平均16)偏差値44)と、454床の増加、率にして44%の増加(全国平均21%の減少)が見られた。



27-2. みしま 三島医療圏

構成市区町村

[高槻市](#)

[茨木市](#)

[摂津市](#)

[島本町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人団動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(三島医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 三島(高槻市)は、総人口約759千人(2020年)、面積213km²、人口密度は3,555人/km²の大都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 三島の総人口は2030年に710千人へと減少し(2020年比-6%)、2045年に642千人へと減少する(2030年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の109千人が、2030年にかけて134千人へと増加し(2020年比+23%)、2045年には131千人へと減少する(2030年比-10%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 三島の一人当たり医療費(国保)は409千円(偏差値58)、介護給付費は226千円(偏差値39)であり、医療費は高いが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が52(病院医師数53、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は46とやや少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は50と全国平均レベルである。三島には、年間全身麻酔件数が2000例以上の第一東和会病院(標準群)、高槻病院(標準群)、大阪医科大学病院(大学本院群)、1000例以上の北摂総合病院(標準群)、500例以上の大坂府済生会茨木病院(標準群)、高槻赤十字病院(標準群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

***リハビリの現状：** 療法士総数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 三島の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8,063人(75歳以上1,000人当たりの偏差値35)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,990床(偏差値36)、高齢者住宅等が4,073床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5,611人(75歳以上1,000人当たりの偏差値34)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム40、介護療養型医療施設なし(偏差値45)、介護医療院なし(偏差値44)、有料老人ホーム48、軽費ホーム53、グループホーム42、サ高住52である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値65と多く、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1,622人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

(三島医療圏) 2. 推移

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

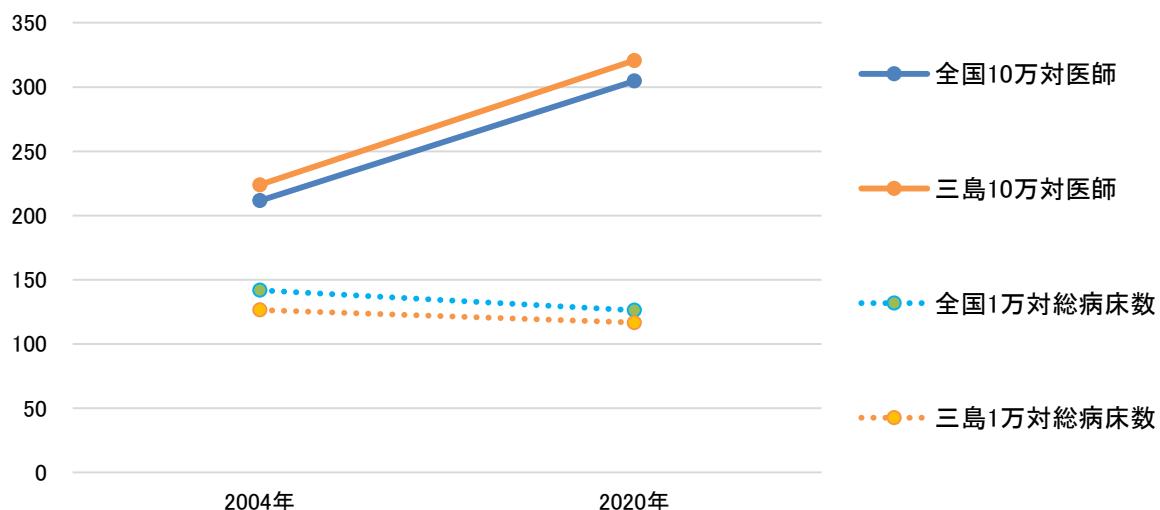
2004年の病院数は38(人口10万人当たり5.2病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2020年に38(人口10万人当たり5病院(全国平均6.5)偏差値46)となり、16年間で増減がなかった。

2004年の診療所数は539(人口10万人当たり73診療所(全国平均76)偏差値49)であったが、2020年に607(人口10万人当たり80診療所(全国平均81)偏差値49)と、68診療所が増加した。

2004年の総病床数は9,283床(人口1万人当たり126(全国平均142)偏差値47)であったが、2020年に8,857床(人口1万人当たり117(全国平均126)偏差値48)と、426床の減少、率にして5%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

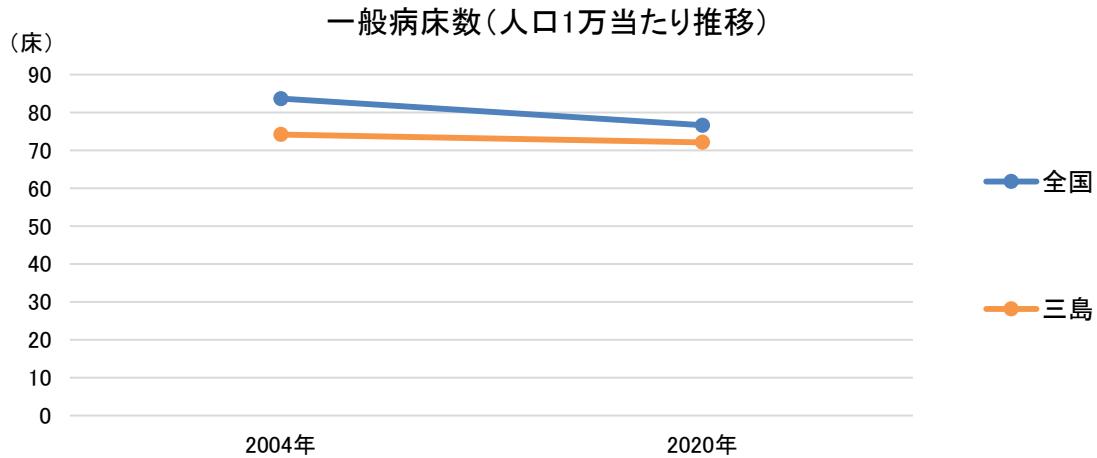
2004年には病院と診療所合わせての総医師数は1,643人(人口10万人当たり224人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2020年に2,433人(人口10万人当たり321人(全国平均305人)偏差値52)と、790人の増加、率にして48%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



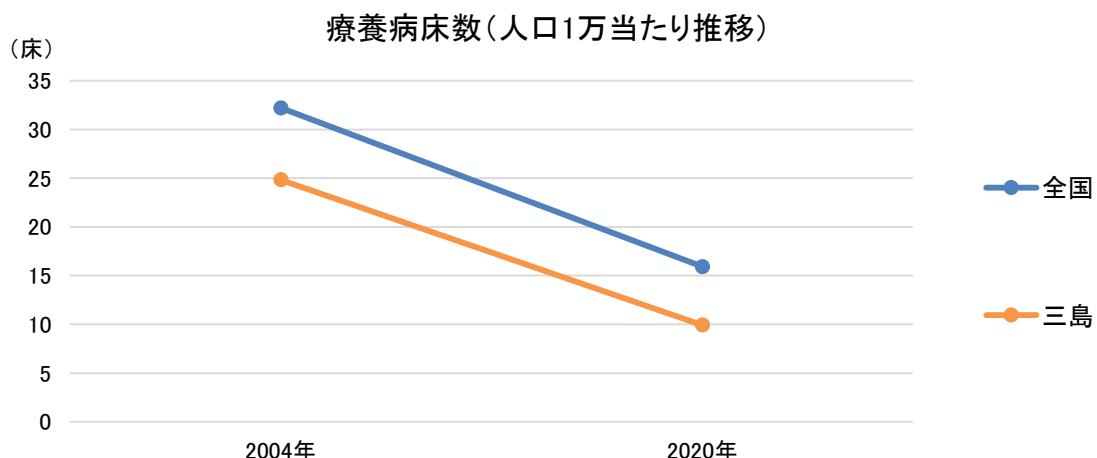
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は5,444床(人口1万人当たり74(全国平均84)偏差値47)であったが、2020年に5,475床(人口1万人当たり72(全国平均77)偏差値48)と、31床の増加、率にして1%の増加(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は1,213床(75歳以上1,000人当たり25(全国平均32)偏差値46)であったが、2020年に1,080床(75歳以上1,000人当たり10(全国平均16)偏差値44)と、133床の減少、率にして11%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



27-3. 北河内医療圏

構成市区町村

[守口市](#)

[門真市](#)

[枚方市](#)

[四條畷市](#)

[寝屋川市](#)

[交野市](#)

[大東市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人団動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(北河内医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- ***人口、面積など：** 北河内(守口市)は、総人口約1,139千人(2020年)、面積177km²、人口密度は6,425人/km²の大都市型二次医療圏である。
- ***人口の将来予測：** 北河内の総人口は2030年に1,019千人へと減少し(2020年比-11%)、2045年に835千人へと減少する(2030年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の177千人が、2030年にかけて215千人へと増加し(2020年比+21%)、2045年には204千人へと減少する(2030年比-18%)ことが予想される。
- ***医療費と介護給付費：** 北河内の一人当たり医療費(国保)は389千円(偏差値54)、介護給付費は264千円(偏差値50)であり、医療費はやや高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

- ***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が49(病院医師数48、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は46とやや少ない。
- ***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は53とやや多い。北河内には、年間全身麻酔件数が2000例以上の関西医科大学総合医療センター(特定群・救命)、関西医科大学附属病院(大学本院群・救命)、1000例以上のJCHO星ヶ丘医療センター(標準群)、松下記念病院(標準群)、市立ひらかた病院(標準群)、野崎徳洲会病院(特定群)、500例以上の枚方公済病院(標準群)、駿生会脳神経外科病院(標準群)、交野病院(標準群)、守口生野記念病院(標準群)、萱島生野病院(標準群)、佐藤病院(標準群)、寝屋川生野病院(標準群)、関西医科大学香里病院(標準群)、小松病院(標準群)がある。
- ***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。
- ***リハビリの現状：** 療法士総数は偏差値48と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。
- ***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。
- ***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- ***介護施設の現状：** 北河内の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、15,184人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が6,810床(偏差値38)、高齢者住宅等が8,374床(偏差値54)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、10,323人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設43、特別養護老人ホーム40、介護療養型医療施設45、介護医療院46、有料老人ホーム52、軽費ホーム51、グループホーム43、サ高住61である。

- ***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値55とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、3,761人(75歳以上1,000人当たりの偏差値67)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

(北河内医療圏) 2. 推移

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

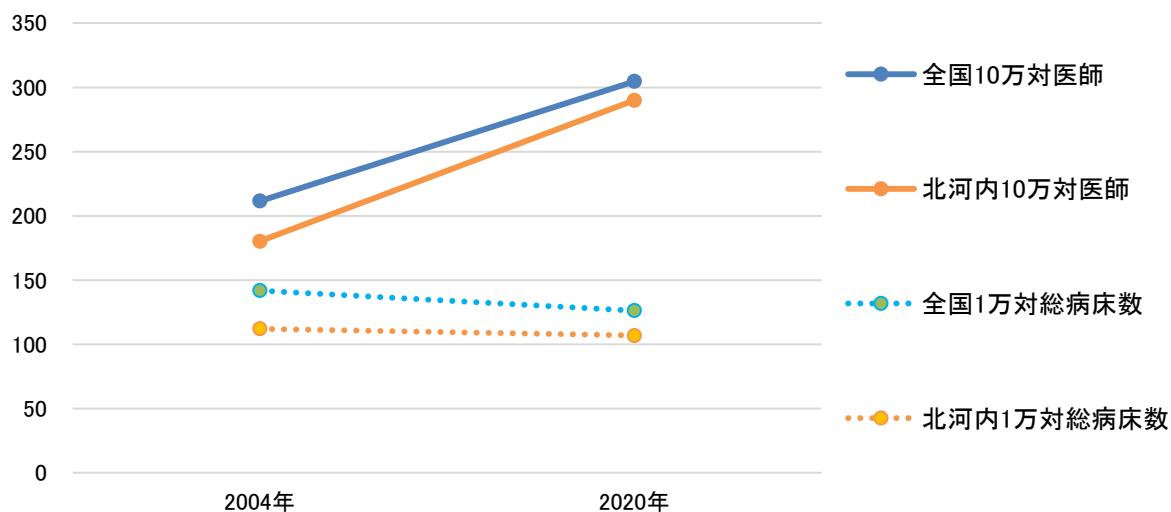
2004年の病院数は61(人口10万人当たり5.1病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2020年に61(人口10万人当たり5.4病院(全国平均6.5)偏差値47)となり、16年間で増減がなかった。

2004年の診療所数は895(人口10万人当たり75診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2020年に896(人口10万人当たり79診療所(全国平均81)偏差値49)と、1診療所が増加した。

2004年の総病床数は13,300床(人口1万人当たり112(全国平均142)偏差値45)であったが、2020年に12,188床(人口1万人当たり107(全国平均126)偏差値46)と、1,112床の減少、率にして8%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

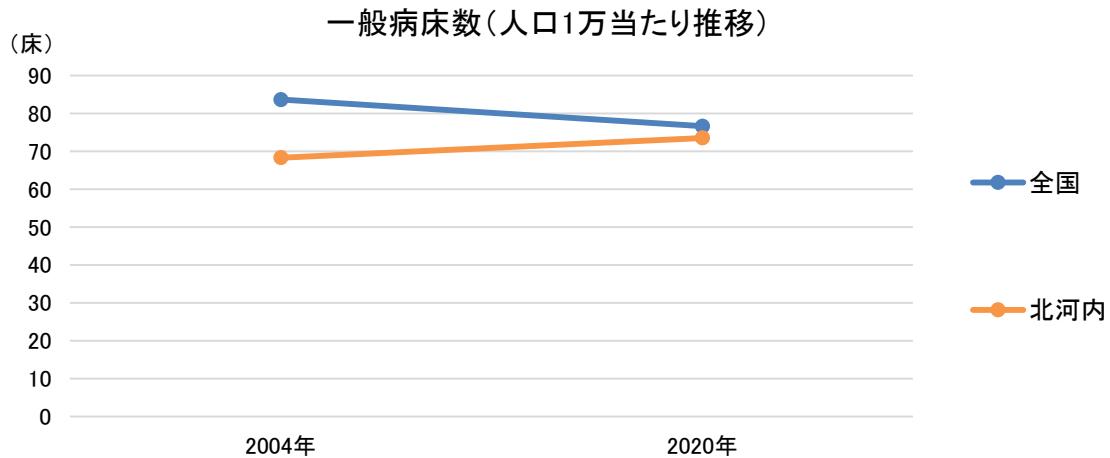
2004年には病院と診療所合わせての総医師数は2,139人(人口10万人当たり180人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2020年に3,304人(人口10万人当たり290人(全国平均305人)偏差値49)と、1,165人の増加、率にして54%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



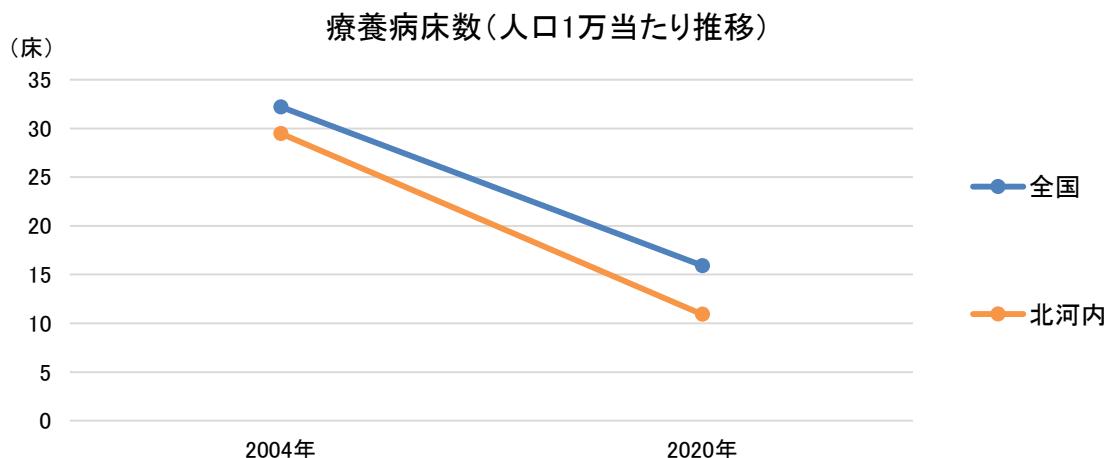
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は8,106床(人口1万人当たり68(全国平均84)偏差値45)であったが、2020年に8,382床(人口1万人当たり74(全国平均77)偏差値49)と、276床の増加、率にして3%の増加(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は2,161床(75歳以上1,000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2020年に1,938床(75歳以上1,000人当たり11(全国平均16)偏差値45)と、223床の減少、率にして10%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



な か か わ ち
27-4. 中河内医療圏

構成市区町村 [八尾市](#) [柏原市](#) [東大阪市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人団動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(中河内医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 中河内(八尾市)は、総人口約827千人(2020年)、面積129km²、人口密度は6,422人/km²の大都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 中河内の総人口は2030年に758千人へと減少し(2020年比-8%)、2045年に657千人へと減少する(2030年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の128千人が、2030年にかけて139千人へと増加し(2020年比+9%)、2045年には131千人へと減少する(2030年比-13%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 中河内の一人当たり医療費(国保)は384千円(偏差値53)、介護給付費は292千円(偏差値59)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が43(病院医師数42、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は41と少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は46とやや少ない。中河内には、年間全身麻酔件数が2000例以上の八尾市立病院(標準群)、市立東大阪医療センター(標準群)、八尾徳洲会総合病院(特定群)、500例以上の医真会八尾総合病院(標準群)、河内総合病院(標準群)、若草第一病院(標準群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

***リハビリの現状：** 療法士総数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値44と少ない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 中河内の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、11,454人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が5,347床(偏差値40)、高齢者住宅等が6,107床(偏差値55)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6,967人(75歳以上1,000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設41、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設51、介護医療院47、有料老人ホーム45、軽費ホーム45、グループホーム44、サ高住72である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値60と多く、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値63と多い。介護職員(在宅)の合計は、3,390人(75歳以上1,000人当たりの偏差値78)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

(中河内医療圏) 2. 推移

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

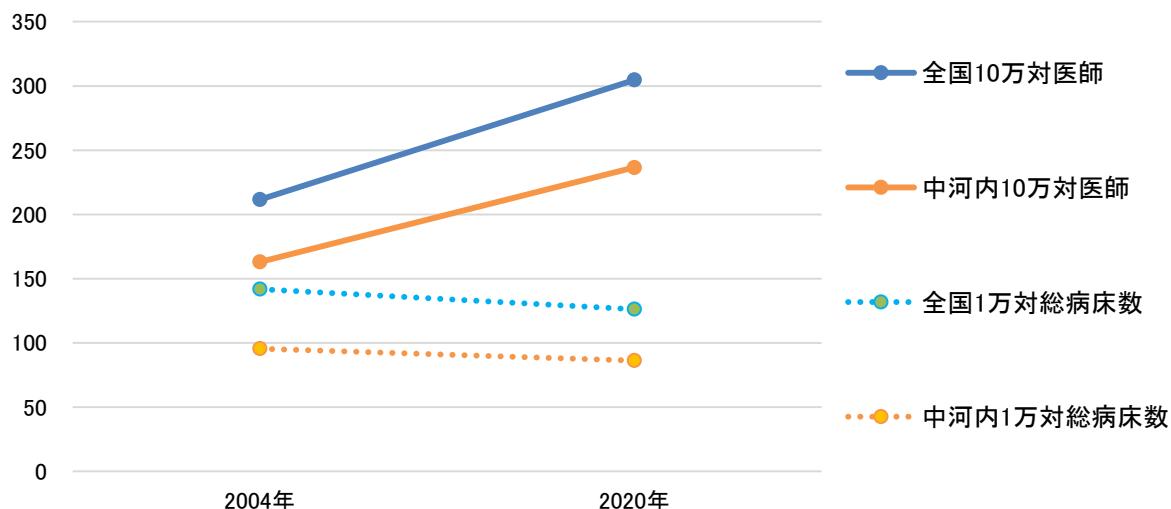
2004年の病院数は43(人口10万人当たり5病院(全国平均7.1)偏差値44)であったが、2020年に35(人口10万人当たり4.2病院(全国平均6.5)偏差値44)となり、16年間で8病院が減少した。

2004年の診療所数は702(人口10万人当たり81診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2020年に659(人口10万人当たり80診療所(全国平均81)偏差値49)と、43診療所が減少した。

2004年の総病床数は8,262床(人口1万人当たり96(全国平均142)偏差値42)であったが、2020年に7,138床(人口1万人当たり86(全国平均126)偏差値43)と、1,124床の減少、率にして14%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

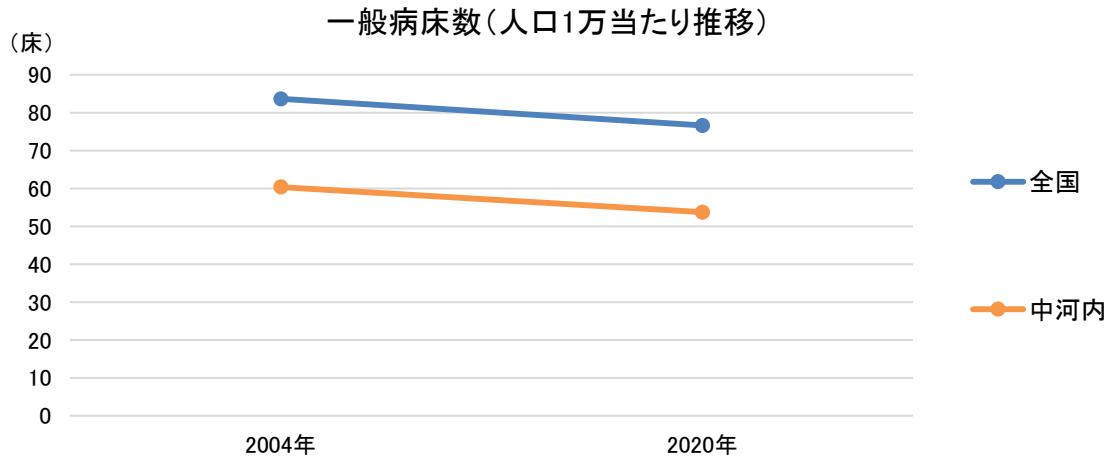
2004年には病院と診療所合わせての総医師数は1,410人(人口10万人当たり163人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2020年に1,957人(人口10万人当たり237人(全国平均305人)偏差値43)と、547人の増加、率にして39%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



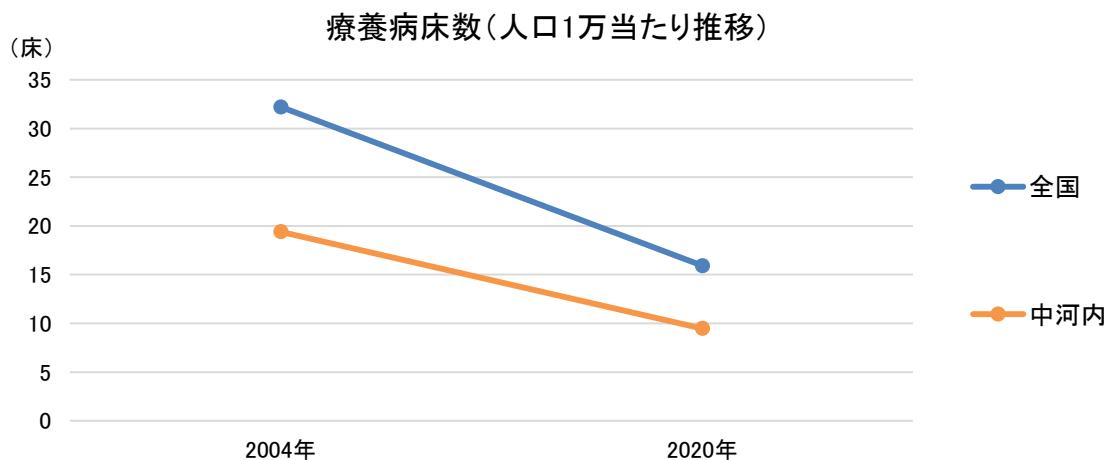
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は5,219床(人口1万人当たり60(全国平均84)偏差値42)であったが、2020年に4,446床(人口1万人当たり54(全国平均77)偏差値41)と、773床の減少、率にして15%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は1,180床(75歳以上1,000人当たり19(全国平均32)偏差値43)であったが、2020年に1,210床(75歳以上1,000人当たり9(全国平均16)偏差値43)と、30床の増加、率にして3%の増加(全国平均21%の減少)が見られた。



みなみかわち
27-5. 南河内医療圏

構成市区町村

[富田林市](#)

[藤井寺市](#)

[千早赤阪村](#)

[河内長野市](#)

[大阪狭山市](#)

[松原市](#)

[太子町](#)

[羽曳野市](#)

[河南町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人団動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(南河内医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 南河内(富田林市)は、総人口約593千人(2020年)、面積290km²、人口密度は2,043人/km²の大都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 南河内の総人口は2030年に519千人へと減少し(2020年比-12%)、2045年に411千人へと減少する(2030年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の98千人が、2030年にかけて117千人へと増加し(2020年比+19%)、2045年には110千人へと減少する(2030年比-21%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 南河内の一人当たり医療費(国保)は388千円(偏差値53)、介護給付費は269千円(偏差値52)であり、医療費はやや高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が55(病院医師数58、診療所医師数47)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数が多い。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は59と多い。南河内には、年間全身麻酔件数が2000例以上の近畿大学病院(大学本院群・救命)、1000例以上のNHO大阪南医療センター(標準群)、城山病院(標準群)、500例以上の富田林病院(標準群)、PL病院(標準群)、大阪はびきの医療センター(標準群)、運動器ケアしまだ病院(標準群)、松原徳洲会病院(特定群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は52と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 療法士総数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値43と少ない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 南河内の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7,552人(75歳以上1,000人当たりの偏差値37)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が4,258床(偏差値41)、高齢者住宅等が3,294床(偏差値44)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5,706人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設40、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設54、介護医療院49、有料老人ホーム45、軽費ホーム51、グループホーム42、サ高住52である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値58と多く、在宅療養支援病院は偏差値57と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値58と多い。介護職員(在宅)の合計は、1,803人(75歳以上1,000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

(南河内医療圏) 2. 推移

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

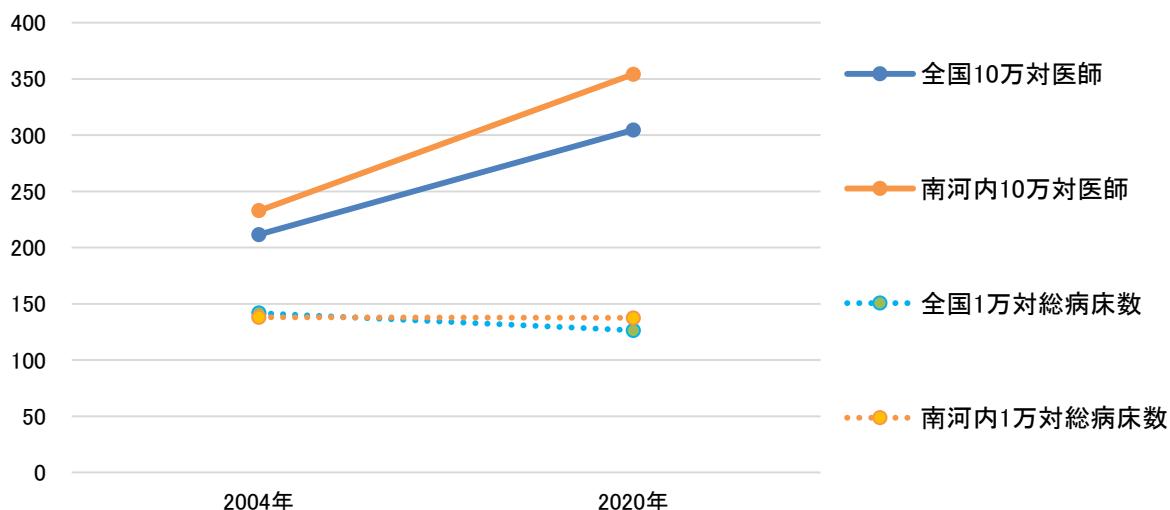
2004年の病院数は39(人口10万人当たり6病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2020年に39(人口10万人当たり6.6病院(全国平均6.5)偏差値50)となり、16年間で増減がなかった。

2004年の診療所数は437(人口10万人当たり67診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2020年に468(人口10万人当たり79診療所(全国平均81)偏差値49)と、31診療所が増加した。

2004年の総病床数は8,970床(人口1万人当たり138(全国平均142)偏差値49)であったが、2020年に8,148床(人口1万人当たり138(全国平均126)偏差値52)と、822床の減少、率にして9%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

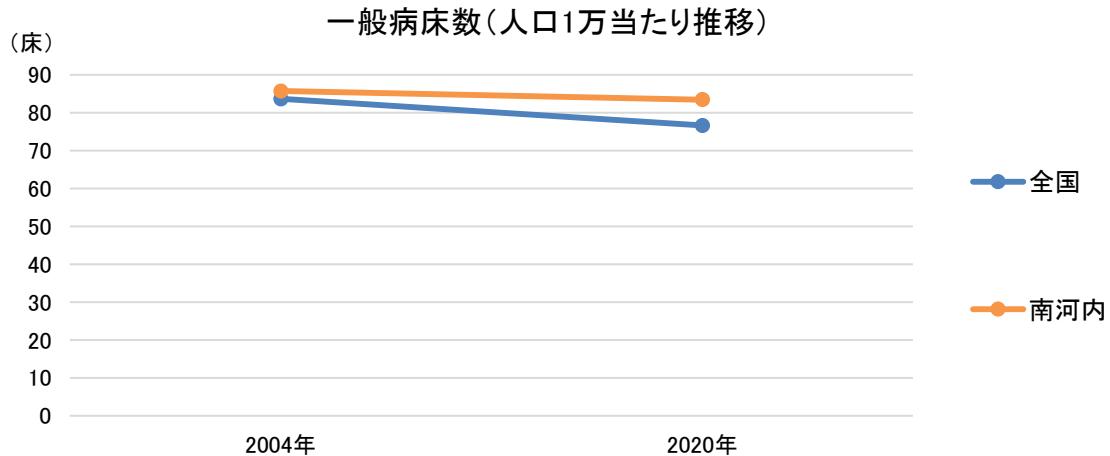
2004年には病院と診療所合わせての総医師数は1,513人(人口10万人当たり233人(全国平均212人)偏差値53)であったが、2020年に2,099人(人口10万人当たり354人(全国平均305人)偏差値55)と、586人の増加、率にして39%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



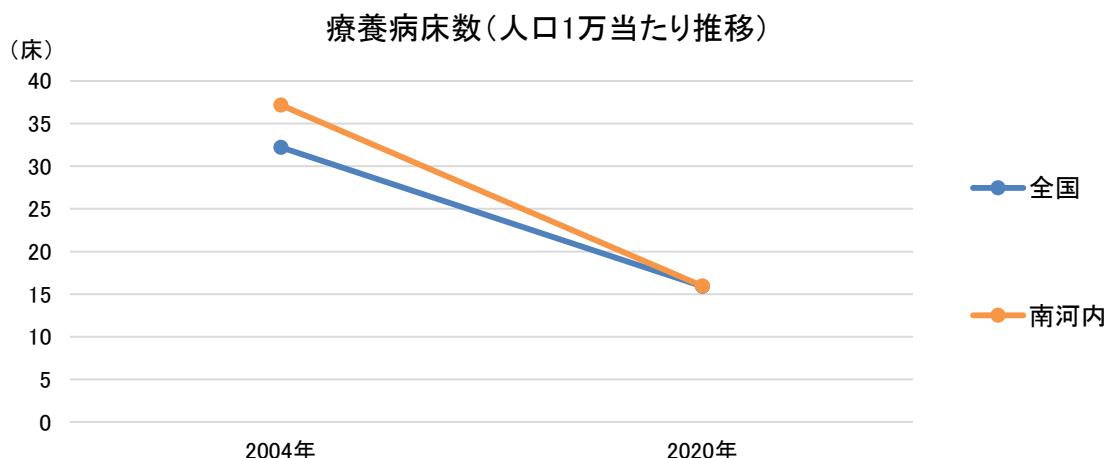
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は5,568床(人口1万人当たり86(全国平均84)偏差値51)であったが、2020年に4,944床(人口1万人当たり83(全国平均77)偏差値53)と、624床の減少、率にして11%(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は1,837床(75歳以上1,000人当たり37(全国平均32)偏差値53)であったが、2020年に1,561床(75歳以上1,000人当たり16(全国平均16)偏差値50)と、276床の減少、率にして15%(全国平均21%の減少)が見られた。



27-6. 堺市医療圏

構成市区町村

堺区

南区

中区

北区

東区

美原区

西区

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人団動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(堺市医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 堀市(堺市堺区)は、総人口約826千人(2020年)、面積150km²、人口密度は5,514人/km²の大都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 堀市の総人口は2030年に788千人へと減少し(2020年比-5%)、2045年に707千人へと減少する(2030年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の127千人が、2030年にかけて151千人へと増加し(2020年比+19%)、2045年には143千人へと減少する(2030年比-10%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 堀市の一人当たり医療費(国保)は396千円(偏差値55)、介護給付費は285千円(偏差値57)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が51(病院医師数50、診療所医師数54)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は51と全国平均レベルである。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は49で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。堺市には、年間全身麻酔件数が2000例以上のベルランド総合病院(標準群)、大阪労災病院(標準群)、堺市立総合医療センター(特定群・救命)、1000例以上の耳原総合病院(標準群)、500例以上の清恵会病院(標準群)、馬場記念病院(標準群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は61と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 療法士総数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値54とやや多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は54で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 堀市の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、11,219人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が4,859床(偏差値38)、高齢者住宅等が6,360床(偏差値56)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7,754人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設41、特別養護老人ホーム41、介護療養型医療施設なし(偏差値45)、介護医療院45、有料老人ホーム49、軽費ホーム52、グループホーム48、サ高住66である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値64と多く、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値74と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、3,618人(75歳以上1,000人当たりの偏差値82)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

(堺市医療圏) 2. 推移

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

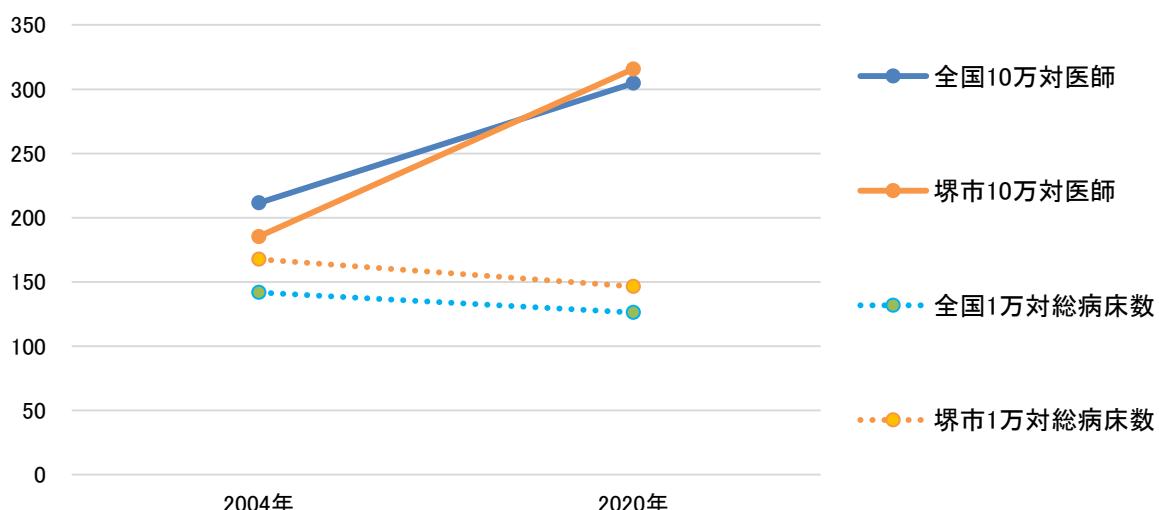
2004年の病院数は47(人口10万人当たり5.7病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2020年に43(人口10万人当たり5.2病院(全国平均6.5)偏差値47)となり、16年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数は709(人口10万人当たり85診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2020年に742(人口10万人当たり90診療所(全国平均81)偏差値54)と、33診療所が増加した。

2004年の総病床数は13,942床(人口1万人当たり168(全国平均142)偏差値55)であったが、2020年に12,103床(人口1万人当たり146(全国平均126)偏差値54)と、1,839床の減少、率にして13%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

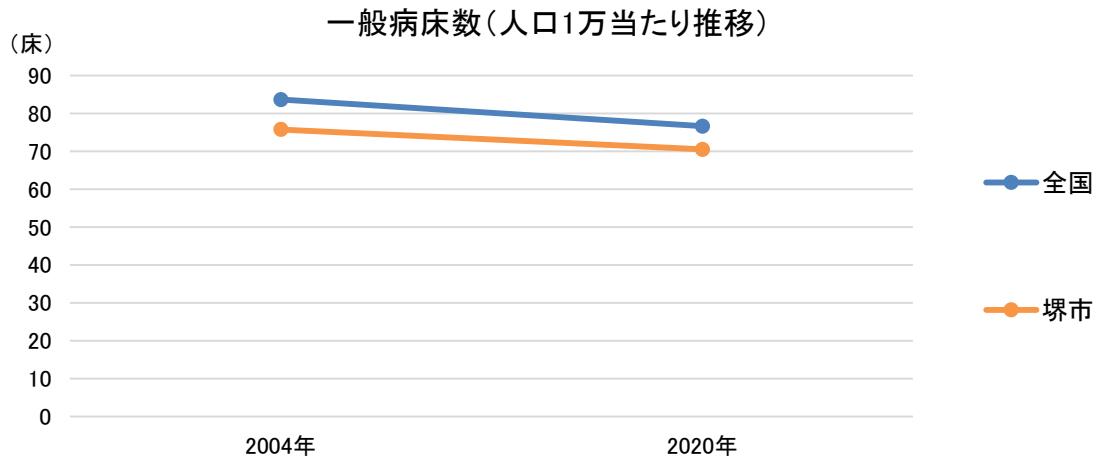
2004年には病院と診療所合わせての総医師数は1,541人(人口10万人当たり185人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2020年に2,609人(人口10万人当たり316人(全国平均305人)偏差値51)と、1,068人の増加、率にして69%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



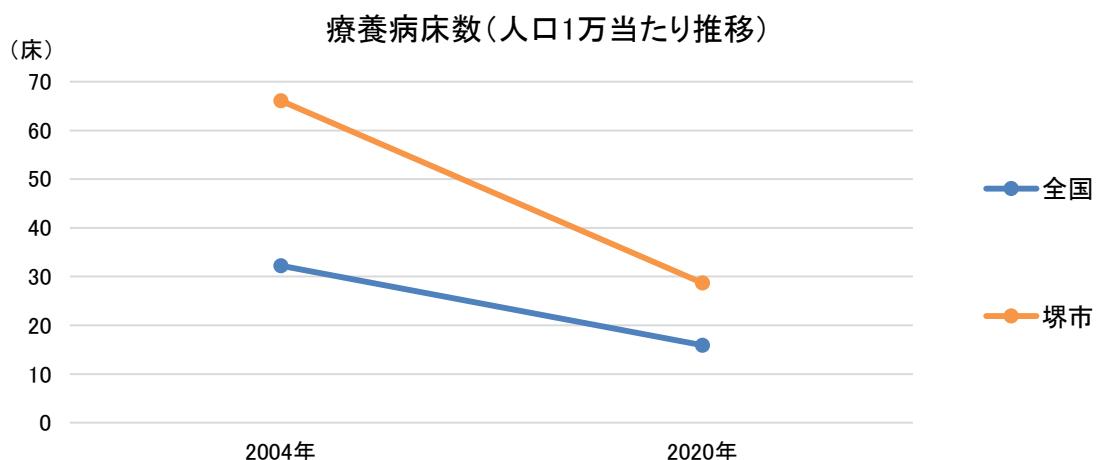
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は6,298床(人口1万人当たり76(全国平均84)偏差値47)であったが、2020年に5,825床(人口1万人当たり71(全国平均77)偏差値48)と、473床の減少、率にして8%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は4,023床(75歳以上1,000人当たり66(全国平均32)偏差値69)であったが、2020年に3,630床(75歳以上1,000人当たり29(全国平均16)偏差値64)と、393床の減少、率にして10%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



せんしゅう
27-7. 泉州医療圏

構成市区町村

[岸和田市](#)

[泉大津市](#)

[貝塚市](#)

[泉佐野市](#)

[和泉市](#)

[高石市](#)

[泉南市](#)

[阪南市](#)

[忠岡町](#)

[熊取町](#)

[田尻町](#)

[岬町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人団動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(泉州医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 泉州(岸和田市)は、総人口約885千人(2020年)、面積445km²、人口密度は1,988人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 泉州の総人口は2030年に814千人へと減少し(2020年比-8%)、2045年に700千人へと減少する(2030年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の128千人が、2030年にかけて150千人へと増加し(2020年比+17%)、2045年には149千人へと減少する(2030年比-14%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 泉州の一人当たり医療費(国保)は391千円(偏差値54)、介護給付費は259千円(偏差値49)であり、医療費はやや高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が49(病院医師数49、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は53とやや多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は53とやや多い。泉州には、年間全身麻酔件数が2000例以上の大阪母子医療センター(標準群)、岸和田徳洲会病院(特定群・救命)、1000例以上の市立貝塚病院(標準群)、葛城病院(標準群)、和泉市立総合医療センター(標準群)、府中病院(標準群)、市立岸和田市民病院(特定群)、りんくう総合医療センター(特定群・救命)、500例以上の佐野記念病院(標準群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数が多い。

***リハビリの現状：** 療法士総数は偏差値55とやや多く、回復期病床数は偏差値56と多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は70で精神病床数は非常に多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 泉州の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9,928人(75歳以上1,000人当たりの偏差値37)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が4,697床(偏差値36)、高齢者住宅等が5,231床(偏差値50)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6,501人(75歳以上1,000人当たりの偏差値33)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム37、介護療養型医療施設47、介護医療院49、有料老人ホーム40、軽費ホーム52、グループホーム41、サ高住70である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値56と多く、在宅療養支援病院は偏差値59と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値64と多い。介護職員(在宅)の合計は、3,200人(75歳以上1,000人当たりの偏差値75)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

(泉州医療圏) 2. 推移

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

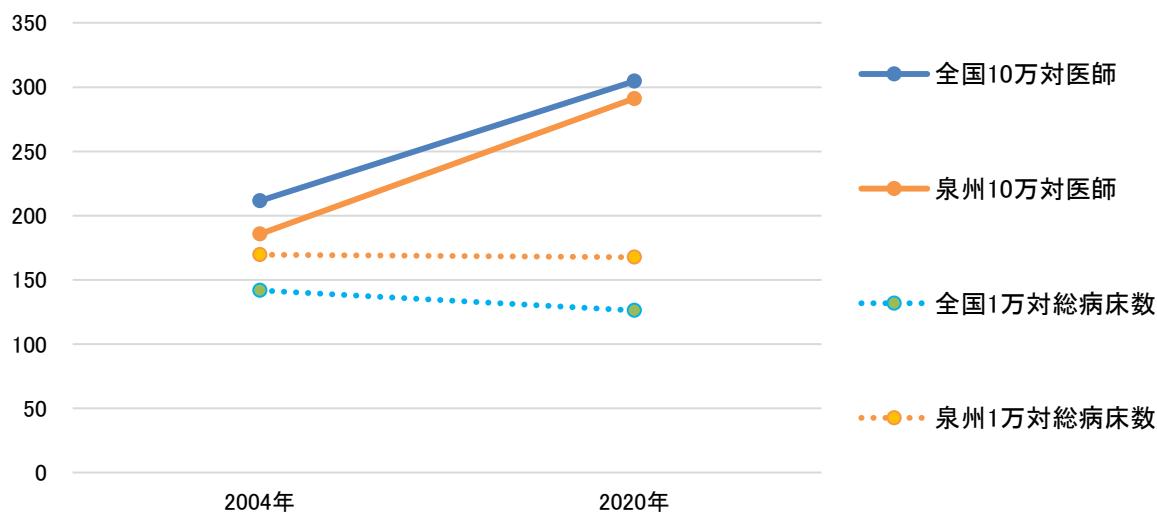
2004年の病院数は81(人口10万人当たり8.8病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2020年に73(人口10万人当たり8.3病院(全国平均6.5)偏差値54)となり、16年間で8病院が減少した。

2004年の診療所数は607(人口10万人当たり66診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2020年に666(人口10万人当たり75診療所(全国平均81)偏差値47)と、59診療所が増加した。

2004年の総病床数は15,563床(人口1万人当たり170(全国平均142)偏差値55)であったが、2020年に14,833床(人口1万人当たり168(全国平均126)偏差値58)と、730床の減少、率にして5%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

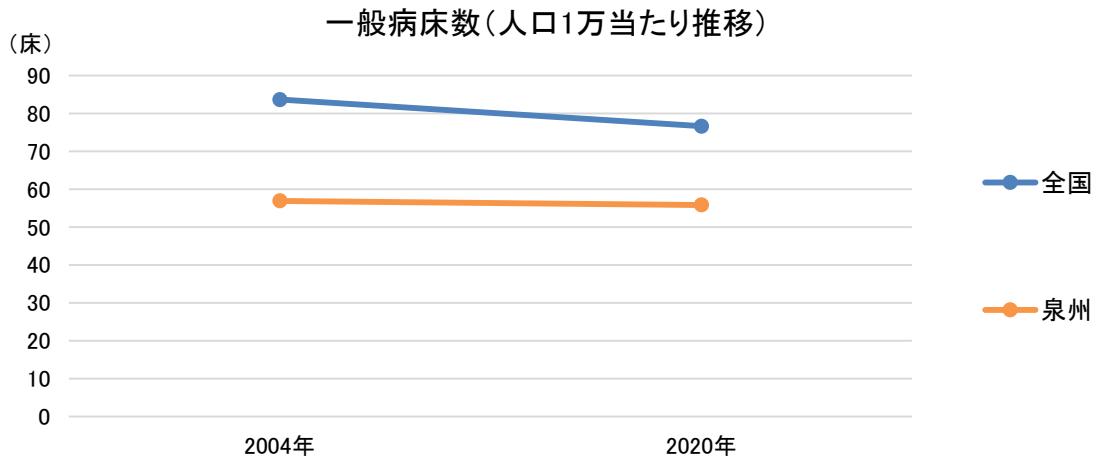
2004年には病院と診療所合わせての総医師数は1,704人(人口10万人当たり186人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2020年に2,575人(人口10万人当たり291人(全国平均305人)偏差値49)と、871人の増加、率にして51%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



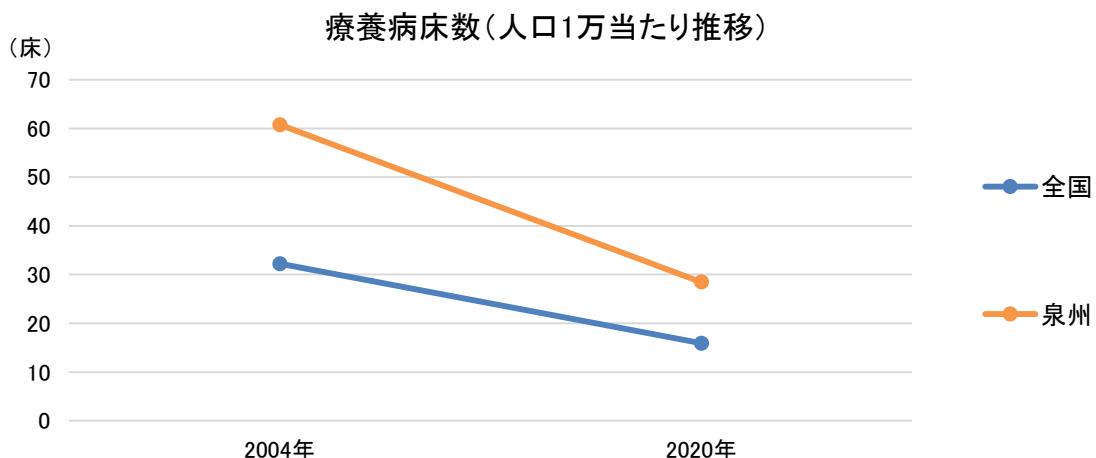
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は5,221床(人口1万人当たり57(全国平均84)偏差値40)であったが、2020年に4,943床(人口1万人当たり56(全国平均77)偏差値42)と、278床の減少、率にして5%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は4,102床(75歳以上1,000人当たり61(全国平均32)偏差値66)であったが、2020年に3,643床(75歳以上1,000人当たり28(全国平均16)偏差値64)と、459床の減少、率にして11%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



おおさかし
27-8. 大阪市医療圏

構成市区町村

<u>都島区</u>	<u>福島区</u>	<u>此花区</u>	<u>西区</u>
<u>港区</u>	<u>大正区</u>	<u>天王寺区</u>	<u>浪速区</u>
<u>西淀川区</u>	<u>東淀川区</u>	<u>東成区</u>	<u>生野区</u>
<u>旭区</u>	<u>城東区</u>	<u>阿倍野区</u>	<u>住吉区</u>
<u>東住吉区</u>	<u>西成区</u>	<u>淀川区</u>	<u>鶴見区</u>
<u>住之江区</u>	<u>平野区</u>	<u>北区</u>	<u>中央区</u>

(大阪市医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 大阪市(大阪市都島区)は、総人口約2,752千人(2020年)、面積225km²、人口密度は12,215人/km²の大都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 大阪市の総人口は2030年に2,619千人へと減少し(2020年比-5%)、2045年に2,411千人へと減少する(2030年比-8%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の376千人が、2030年にかけて430千人へと増加し(2020年比+14%)、2045年には445千人へと減少する(2030年比-8%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 大阪市の一人当たり医療費(国保)は354千円(偏差値46)、介護給付費は342千円(偏差値74)であり、医療費はやや低いが、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が65(病院医師数60、診療所医師数69)と、総医師数と病院医師数は多く、診療所医師数は非常に多い。総看護師数の偏差値は54とやや多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は60で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は60と多い。大阪市には、年間全身麻酔件数が2000例以上のJCHO大阪病院(標準群)、NHO大阪医療センター(特定群・救命)、済生会中津病院(特定群)、大阪国際がんセンター(特定群)、大阪市立総合医療センター(特定群・救命)、北野病院(特定群)、淀川キリスト教病院(特定群)、大阪急性期・総合医療センター(特定群・救命)、大阪警察病院(特定群・救命)、大阪赤十字病院(特定群・救命)、大阪公立大学医学部附属病院(大学本院群・救命)、1000例以上の大手前病院(標準群)、大阪回生病院(標準群)、南大阪病院(標準群)、住友病院(標準群)、医誠会病院(標準群)、大阪鉄道病院(標準群)、日本生命病院(標準群)、多根総合病院(標準群)、千船病院(標準群)、関西電力病院(標準群)、野江病院(特定群)、500例以上のJCHO大阪みなと中央病院(標準群)、なにわ生野病院(標準群)、富永病院(標準群)、大阪中央病院(標準群)、行岡病院(標準群)、大阪暁明館病院(標準群)、第二大阪警察病院(標準群)、東住吉森本病院(標準群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 療法士総数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は39で精神病床数は少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は73で診療所数は非常に多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 大阪市の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、42,207人(75歳以上1,000人当たりの偏差値60)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が20,736床(偏差値50)、高齢者住宅等が21,471床(偏差値61)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、27,377人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設46、介護医療院44、有料老人ホーム59、軽費ホーム45、グループホーム51、サ高住62である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値80と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値71と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、14,062人(75歳以上1,000人当たりの偏差値99)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

(大阪市医療圏) 2. 推移

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

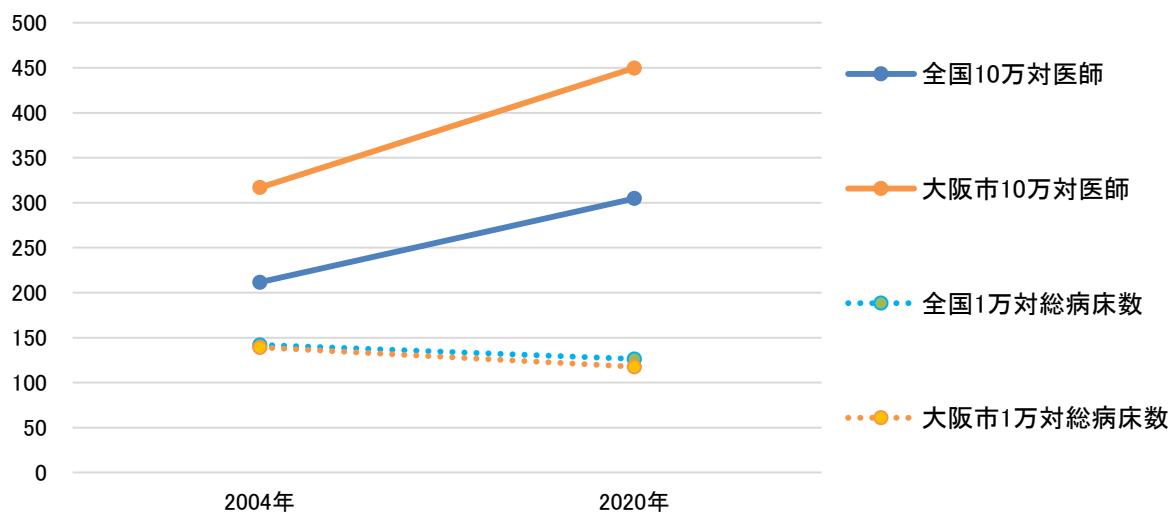
2004年の病院数は200(人口10万人当たり7.6病院(全国平均7.1)偏差値51)であったが、2020年に176(人口10万人当たり6.4病院(全国平均6.5)偏差値50)となり、16年間で24病院が減少した。

2004年の診療所数は3,315(人口10万人当たり126診療所(全国平均76)偏差値75)であったが、2020年に3,489(人口10万人当たり127診療所(全国平均81)偏差値73)と、174診療所が増加した。

2004年の総病床数は36,564床(人口1万人当たり139(全国平均142)偏差値50)であったが、2020年に32,337床(人口1万人当たり117(全国平均126)偏差値48)と、4,227床の減少、率にして12%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

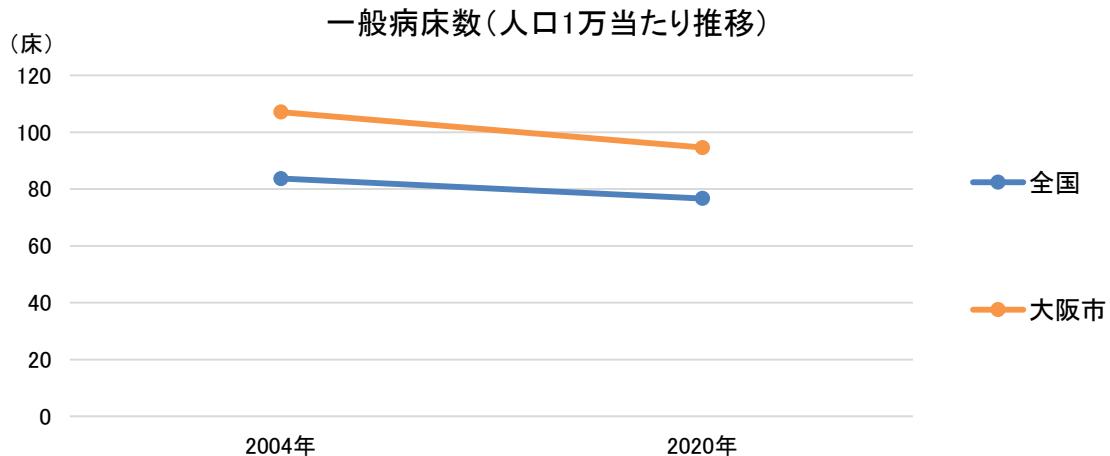
2004年には病院と診療所合わせての総医師数は8,332人(人口10万人当たり317人(全国平均212人)偏差値63)であったが、2020年に12,381人(人口10万人当たり450人(全国平均305人)偏差値65)と、4,049人の増加、率にして49%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は28,150床(人口1万人当たり107(全国平均84)偏差値58)であったが、2020年に26,035床(人口1万人当たり95(全国平均77)偏差値57)と、2,115床の減少、率にして8%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は8,033床(75歳以上1,000人当たり37(全国平均32)偏差値53)であったが、2020年に5,995床(75歳以上1,000人当たり16(全国平均16)偏差値50)と、2038床の減少、率にして25%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。

